

別記様式第2号（その1の1）

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ者	ガッコウホウジン トウキョウコクサイダイガク 学校法人 東京国際大学							
フリガナ大学の名称	トウキョウコクサイダイガク 東京国際大学 (Tokyo International University)							
大学本部の位置	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1							
大学の目的	東京国際大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神「公德心を体した真の国際人の養成」を基調として、広い教養及び社会に密接な専門学術を教授・研究し、人類の福祉と文化の発展に貢献し得る知性と勇気と先見性豊かな人材を育成することを目的及び使命としている。							
新設学部等の目的	スポーツ立国の実現に向けて未だ多くの課題が存在する現状に対しスポーツに関わるより多くの有為な人材を社会に送り出すことを目的に、人間スポーツ学科及びスポーツ科学科の規模を拡大する。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	商学部 (School of Business and Commerce)	年	人	年次人	人		年月 第 年次	
	商学科 (Department of Business and Commerce)	4	100	—	400	学士(商学) (Bachelor of Arts in Business and Commerce)	昭和40年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	経営学科 (Department of Business Administration)	4	160	—	640	学士(経営学) (Bachelor of Arts in Business Administration)	平成25年4月 第1年次	同上
	経済学部 (School of Economics)							
	経済学科 (Department of Economics)	4	475	—	1,900	学士(経済学) (Bachelor of Arts in Economics)	平成元年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	言語コミュニケーション学部 (School of Language Communication)					学士(デジタルビジネス・イノベーション) (Bachelor of Science in Digital Business and Innovation)		
	英語コミュニケーション学科 (Department of English Communication)	4	250	—	1,000	学士(言語コミュニケーション学) (Bachelor of Arts in Language Communication)	平成16年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
	国際関係学部 (School of International Relations)							
	国際関係学科 (Department of International Relations)	4	310	—	1,240	学士(国際関係学) (Bachelor of Arts in International Relations)	平成7年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
国際メディア学科 (Department of Media and Communication Studies)	4	60	—	240	学士(国際メディア学) (Bachelor of Arts in Media and Communication Studies)	平成19年4月 第1年次	同上	
人間社会学部 (School of Human and Social Sciences)								
福祉心理学科 (Department of Social Welfare and Psychology)	4	45	—	180	学士(福祉心理学) (Bachelor of Arts in Social Welfare and Psychology)	平成7年4月 第1年次	埼玉県川越市の場 2509 埼玉県川越市の場北1丁目13番地1	

新設学部等の概要	人間スポーツ学科 (Department of Human Development and Sport Sciences)	4	245 (230)	—	980 (920)	学士(人間スポーツ学) (Bachelor of Arts in Human Development and Sport Sciences)	令和5年4月 第1年次	埼玉県川越市の場 2509 埼玉県川越市の場北 1丁目13番地1 埼玉県坂戸市大字 四日市場宇田利75-2	
	スポーツ科学科 (Department of Sport Sciences)	4	210 (200)	—	840 (800)	学士(スポーツ科学) (Bachelor of Arts in Sport Sciences)	令和5年4月 第1年次	埼玉県川越市の場 2509 埼玉県川越市の場北 1丁目13番地1 埼玉県坂戸市大字 四日市場宇田利75-2	
	医療健康学部 (School of Health Sciences) 理学療法学科 (Department of Physical Therapy)	4	80	—	320	学士(理学療法学) (Bachelor of Physical Therapy)	令和3年4月 第1年次	埼玉県川越市の場北 1丁目13番地1	
			1,935 (1,910)		7,740 (7,640)				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		該当なし							
教育課程	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
	新設学部等の名称	講義	演習	実験・実習	計				
—		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
			人	人	人	人	人	人	人
	新設	商学部 商学科	8 (8)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	78 (78)
		商学部 経営学科	11 (14)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (15)	0 (0)	77 (77)
	組織	経済学部 経済学科	22 (21)	14 (15)	5 (1)	0 (0)	41 (37)	0 (0)	70 (70)
		言語コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学部	10 (10)	4 (3)	7 (7)	0 (1)	21 (21)	0 (0)	105 (105)
	分	国際関係学部 国際関係学科	10 (15)	8 (10)	7 (2)	0 (0)	25 (27)	0 (0)	89 (89)
		国際関係学部 国際メディア学科	5 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	83 (83)
	概要	人間社会学部 福祉心理学科	5 (5)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	77 (77)
		人間社会学部 人間スポーツ学科	9 (8)	3 (4)	3 (3)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	83 (83)
	既設分	人間社会学部 スポーツ科学科	8 (8)	1 (1)	6 (6)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	86 (86)
		医療健康学部 理学療法学科	8 (7)	7 (8)	6 (6)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	31 (30)
	計		96 (101)	45 (49)	36 (27)	0 (1)	177 (178)	0 (0)	— (—)
GTI(Global Teaching Institute)		0 (0)	0 (0)	46 (46)	0 (0)	46 (46)	0 (0)	0 (0)	
JLI (Japanese Language Institute)		1 (1)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	3 (3)	
教育研究推進機構		3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	29 (29)	
計		4 (4)	0 (0)	69 (69)	0 (0)	73 (73)	0 (0)	— (—)	
合計		100 (105)	45 (49)	105 (96)	0 (1)	250 (251)	0 (0)	— (—)	

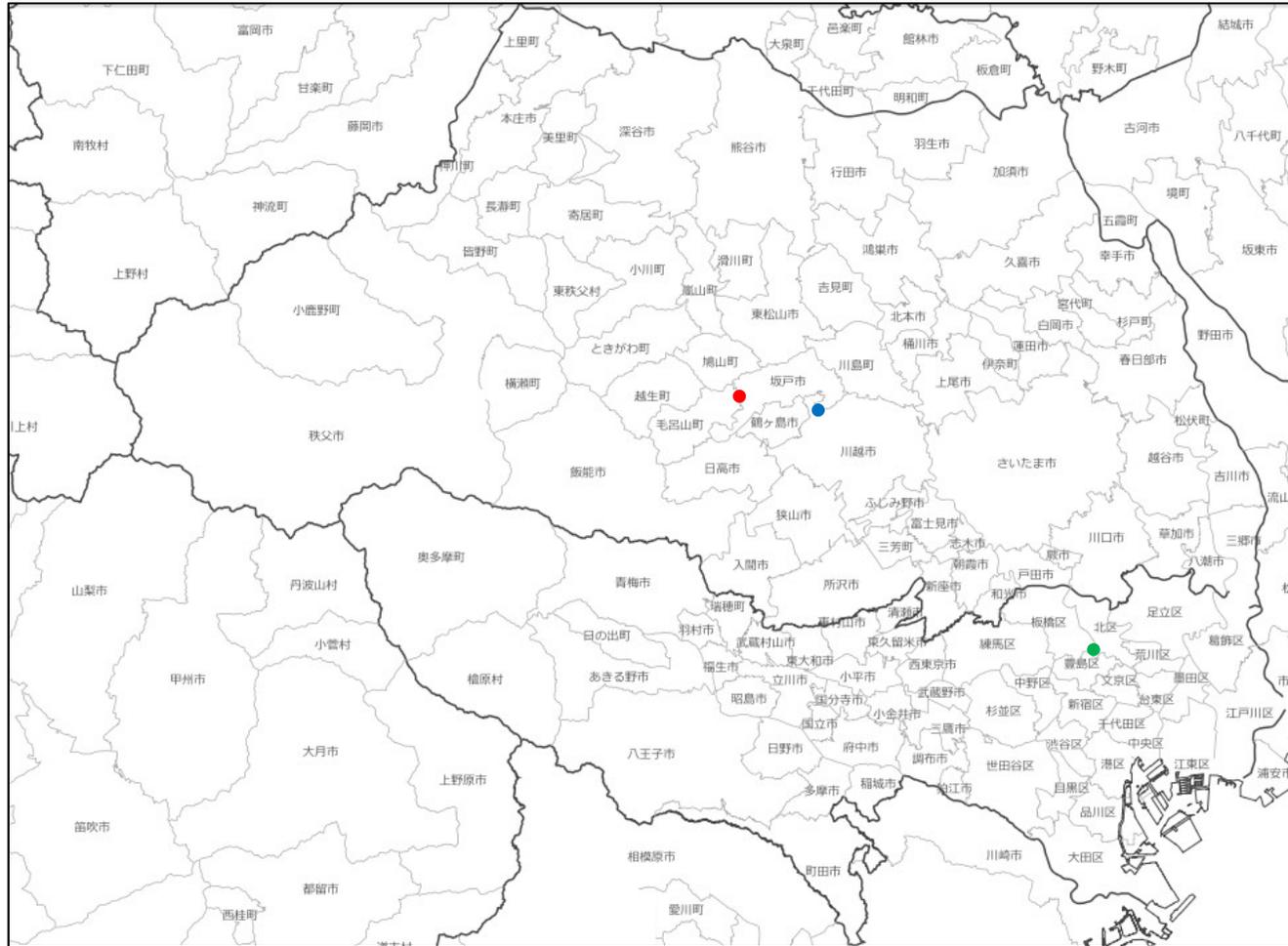
教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		141 (141)	20 (20)	161 (161)					
	技 術 職 員		— (—)	— (—)	— (—)					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	— (—)	1 (1)					
	そ の 他 の 職 員		7 (7)	48 (48)	55 (55)					
	計		149 (149)	68 (68)	217 (217)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	・校舎敷地は下段が現有面積、上段が池袋キャンパス（令和5年9月完成予定）を含む。 ・運動場用地は坂戸キャンパス、河川敷校地を含む。				
	校 舎 敷 地	87,288㎡ (77,288㎡)	0㎡	0㎡	87,288㎡ (77,288㎡)					
	運 動 場 用 地	201,978㎡	0㎡	0㎡	201,978㎡					
	小 計	289,266㎡ (279,266㎡)	0㎡	0㎡	289,266㎡ (279,266㎡)					
	そ の 他	2,675㎡	0㎡	0㎡	2,675㎡					
	合 計	291,941㎡ (281,941㎡)	0㎡	0㎡	291,941㎡ (281,941㎡)					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	下段が現有面積、上段が池袋キャンパス（令和5年9月完成予定）を含む。				
		87,966㎡ (61,195㎡)			87,966㎡ (61,195㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	・大学全体 ・下段が現有数、上段が池袋キャンパス（令和5年9月完成予定）を含む。				
	192室 (124室)	14室 (14室)	7室 (7室)	24室 (21室) (補助職員0人)	12室 (12室) (補助職員0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		GTI, JLIは共同研究室（86席）を使用。				
		大学全体		224 室						
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	693,218 [115,698] (684,495 [114,351])	15,856 [14,283] (15,856 [14,283])	12,311 [12,311] (12,311 [12,311])	15,762 (15,722)	355 (355)	— (—)			
	計	693,218 [115,698] (684,495 [114,351])	15,856 [14,283] (15,856 [14,283])	12,311 [12,311] (12,311 [12,311])	15,762 (15,722)	355 (355)	— (—)			
図書館		面積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		10,274㎡		648	699,000					
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		4,473㎡		野球場2面		テニスコート8面				
				サッカー場3面		ゴルフ練習場2面				
				フットサル場3面		アーチェリー場1面				
				陸上競技場400mトラック1面		ソフトボール場2面				
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	・大学全体 ・図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	—	—	
		共同研究費等		3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	—	—	
		図書購入費	62,538千円	62,538千円	62,538千円	62,538千円	62,538千円	—	—	
		設備購入費	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	—	—	

経費の見積り及び維持方法の概要	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	金額(仮)
		1,400千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	—千円	—千円	商学部・経済学部・国際関係学部・人間社会学部福祉心理学科
		1,450千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	—千円	—千円	言語コミュニケーション学部
		1,560千円	1,310千円	1,310千円	1,310千円	—千円	—千円	人間社会学部人間スポーツ学科およびスポーツ科学科
		1,450千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	—千円	—千円	経済学部・国際関係学部Eトラック
		1,800千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	—千円	—千円	医療健康学部
		1,090千円	840千円	840千円	—千円	—千円	—千円	商学研究科・経済学研究科・国際関係学研究科
		1,450千円	1,400千円	1,400千円	—千円	—千円	—千円	商学研究科・経済学研究科・国際関係学研究科Eトラック
1,180千円	880千円	880千円	—千円	—千円	—千円	臨床心理学研究科		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入						
大学の名称		東京国際大学 (Tokyo International University)						
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
商学部	年	人	年次	人		倍		
商学科	4	100	—	400	学士(商学)	0.97	昭和40年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
経営学科	4	160	—	400	学士(経営学)	0.85	平成25年度	
経済学部								
経済学科	4	475	—	1,820	学士(経済学) 学士(デジタルビジネス・イノベーション)	1.14	平成元年	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
言語コミュニケーション学部								
英語コミュニケーション学科	4	250	—	960	学士(言語コミュニケーション学)	0.94	平成16年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
国際関係学部								
国際関係学科	4	310	—	1,110	学士(国際関係学)	0.98	平成7年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
国際メディア学科	4	60	—	240	学士(国際メディア学)	0.95	平成19年度	
人間社会学部								
福祉心理学科	4	45	—	120	学士(福祉心理学)	1.01	平成7年度	埼玉県川越市の場2509
人間スポーツ学科	4	230	—	920	学士(人間スポーツ学)	1.00	平成23年度	
スポーツ科学科	4	200	—	800	学士(スポーツ科学)	1.01	平成24年度	
医療健康学部								
理学療法学科	4	80	—	160	学士(理学療法学)	1.02	平成24年度	
大学院商学研究科								
商学専攻(博士前期課程)	2	30	—	60	修士(商学) 修士(デジタル経営革新)	0.83	昭和61年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
商学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(商学) 博士(デジタル経営革新)	0.83	昭和63年度	
大学院経済学研究科								
経済学専攻(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(経済学)	0.66	平成6年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
経済学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(経済学)	0.17	平成14年度	
大学院国際関係学研究科								
国際関係学専攻(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(国際関係学)	0.11	昭和59年度	埼玉県川越市の場北1丁目13番地1
大学院臨床心理学研究科								
臨床心理学専攻(博士前期課程)	2	25	—	50	修士(心理学)	0.55	平成13年度	埼玉県川越市の場2509
臨床心理学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(心理学)	0.22	平成13年度	
0.00	平成13年度							
附属施設の概要		該当なし						

学校法人東京国際大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度(2022年度)	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度(2023年度)	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
東京国際大学				東京国際大学				
商学部				商学部				
商学科	100	—	400	商学科	100	—	400	
経営学科	160	—	640	経営学科	160	—	640	
経済学部				経済学部				
経済学科	475	—	1,900	経済学科	475	—	1,900	
国際関係学部				国際関係学部				
国際関係学科	310	—	1,240	国際関係学科	310	—	1,240	
国際メディア学科	60	—	240	国際メディア学科	60	—	240	
人間社会学部				人間社会学部				
福祉心理学科	45	—	180	福祉心理学科	45	—	180	
人間スポーツ学科	230	—	920	人間スポーツ学科	<u>245</u>	—	<u>980</u>	定員変更(15)
スポーツ科学科	200	—	800	スポーツ科学科	<u>210</u>	—	<u>840</u>	定員変更(10)
言語コミュニケーション学部				言語コミュニケーション学部				
英語コミュニケーション学科	250	—	1,000	英語コミュニケーション学科	250	—	1,000	
医療健康学部				医療健康学部				
理学療法学科	80	—	320	理学療法学科	80	—	320	
計	1,910	—	7,640	計	<u>1,935</u>	—	<u>7,740</u>	
東京国際大学大学院				東京国際大学大学院				
商学研究科				商学研究科				
商学専攻(M)	30	—	60	商学専攻(M)	30	—	60	
商学専攻(D)	3	—	9	商学専攻(D)	3	—	9	
経済学研究科				経済学研究科				
経済学専攻(M)	20	—	40	経済学専攻(M)	20	—	40	
経済学専攻(D)	3	—	9	経済学専攻(D)	3	—	9	
国際関係学研究科				国際関係学研究科				
国際関係学専攻(M)	20	—	40	国際関係学専攻(M)	20	—	40	
臨床心理学研究科				臨床心理学研究科				
臨床心理学専攻(M)	25	—	50	臨床心理学専攻(M)	25	—	50	
臨床心理学専攻(D)	2	—	6	臨床心理学専攻(D)	2	—	6	
計	103	—	214	計	103	—	214	

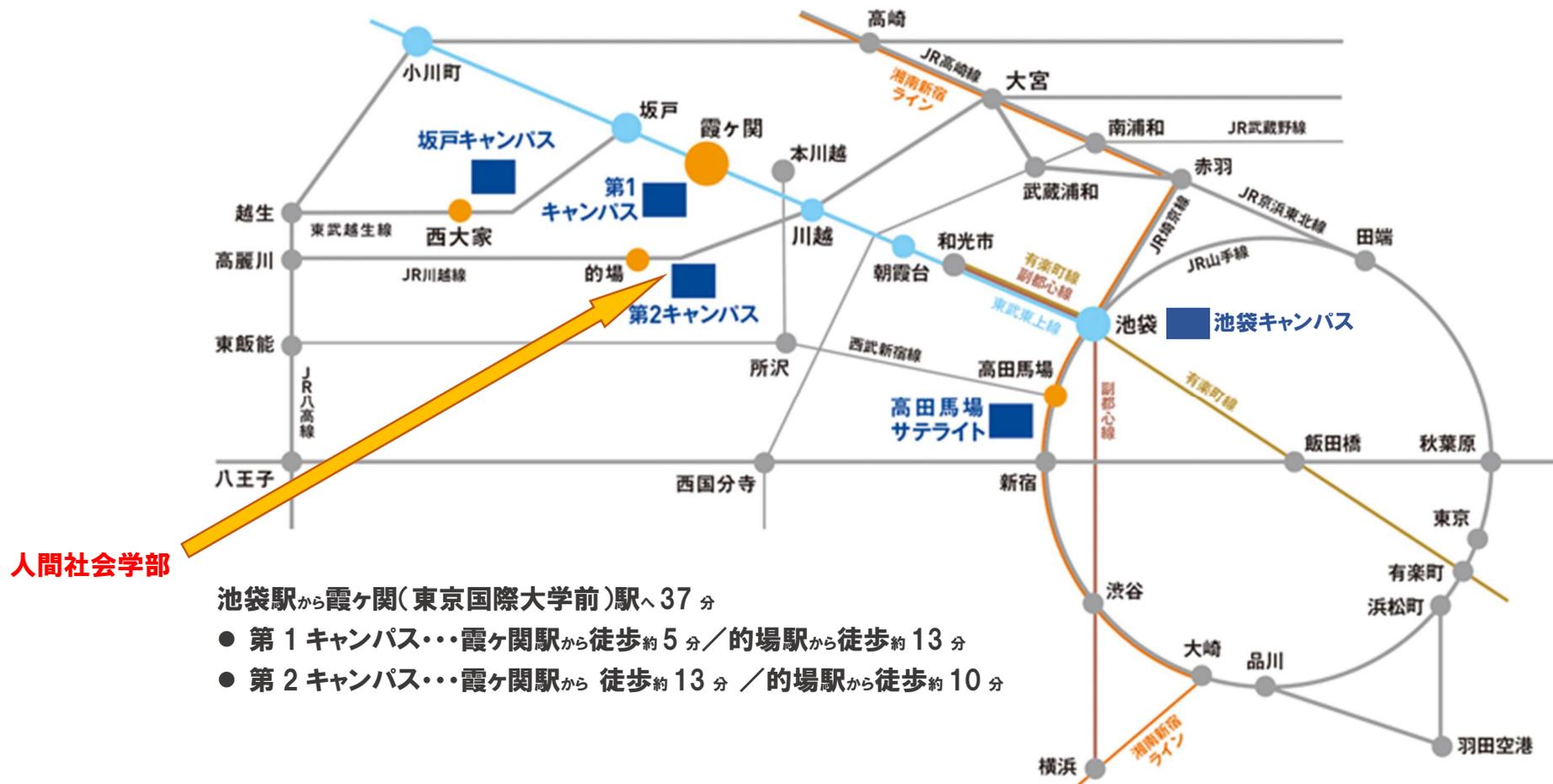
埼玉県内における位置関係のわかる図面



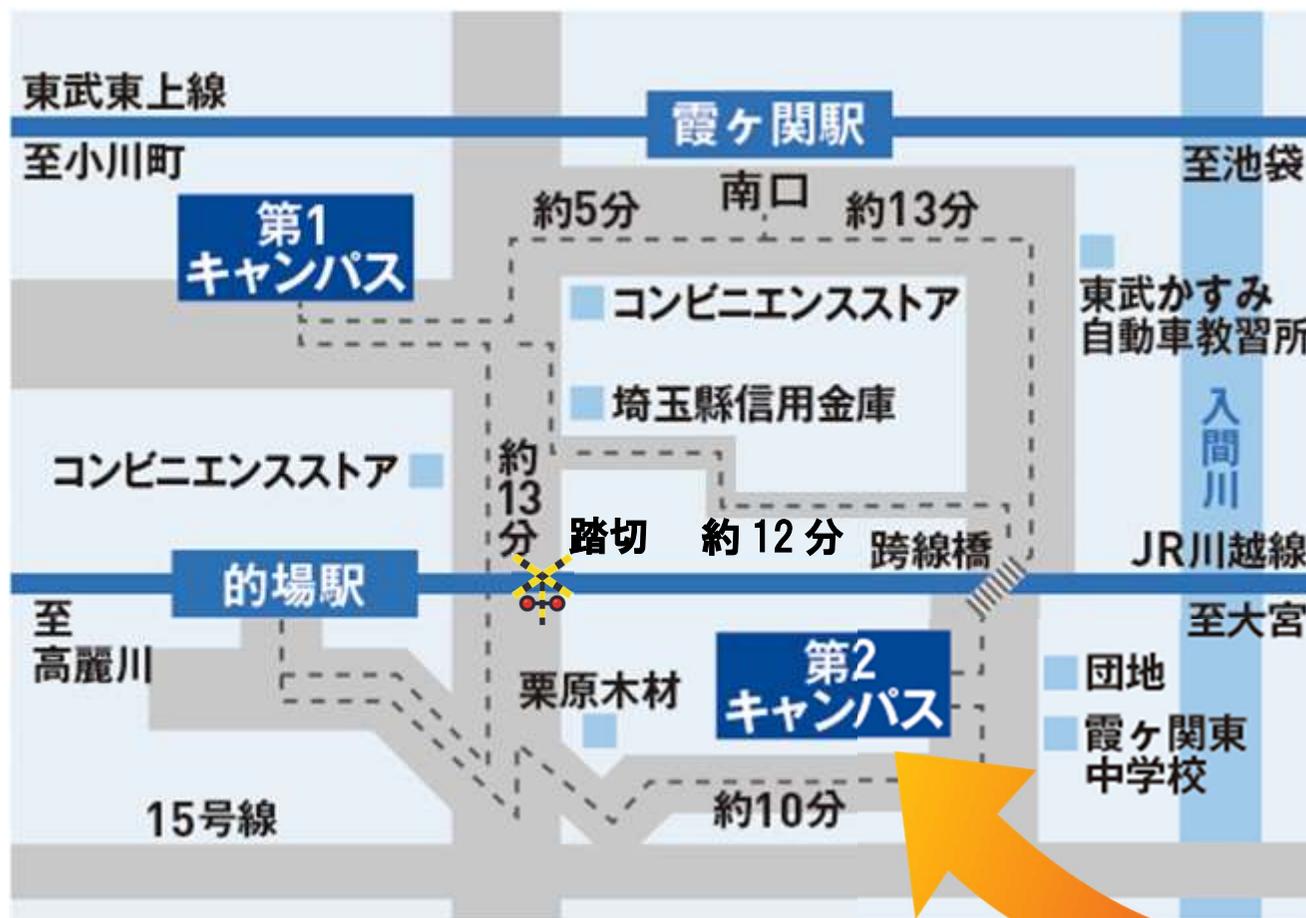
- 坂戸キャンパス(運動施設)
- 池袋キャンパス(2023年9月開校予定)
- 第1キャンパス(商学部・経済学部・言語コミュニケーション学部・国際関係学部・医療健康学部)/第2キャンパス(人間社会学部)

国土地理院 地理院地図(電子国土Web、情報リスト:白地図)

最寄駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



最寄駅からの所要時間



人間社会学部

学校の位置及び校地、校舎の配置図の概要

池袋国際キャンパス
(2023年9月開校予定)
10,000.05㎡ (全部所有予定)
所在地: 東京都豊島区東池袋4-3-277-202の一部
校舎: 22階建 約35,000㎡

川越第1校地

所在地:
埼玉県川越市の場北1-13-1 (所有分)
埼玉県川越市の場北1-13-8 (借用分)

第1キャンパス建物概要:
(行頭の数字は配置図の建物を表す)

1	校舎	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	7階建	7,235 ㎡
2	校舎	: 鉄筋コンクリート造	5階建	5,483 ㎡
3	校舎	: 鉄骨造	3階建	1,579 ㎡
4	校舎	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	4階建	3,426 ㎡
5	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	1,670 ㎡
6	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	3,234 ㎡
7	管理棟	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	4階建	2,149 ㎡
8	研究棟	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	5階建	2,734 ㎡
9	図書館	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	6階建	6,272 ㎡
10	大講堂	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	3階建	1,803 ㎡
11	体育館	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	3階建	2,876 ㎡
12	食堂1	: 鉄骨造	2階建	1,362 ㎡
13	7号館	: 鉄筋コンクリート造	2階建	638 ㎡
14	食堂3	: 鉄筋コンクリート造平屋建		561 ㎡
15	ゲストハウス	: 鉄骨造	2階建	99 ㎡
16	クラブハウス1	: 鉄骨造	2階建	365 ㎡
17	クラブハウス2	: 鉄骨造	2階建	437 ㎡
18	倉庫	: 鉄骨造平屋建		123 ㎡
19	守衛所	: 鉄筋コンクリート造平屋建		34 ㎡

坂戸校地

所在地:
埼玉県坂戸市大字四日市場字田利75-2

坂戸キャンパス建物概要:
(行頭の数字は配置図の建物を表す)

1	校舎	: 鉄骨造	平屋建	723 ㎡	
2	校舎	: 鉄骨造	2階建	502 ㎡	
3	守衛所	: 鉄筋コンクリート造平屋建		15 ㎡	
4	バウスタンド棟	: 鉄骨造	2階建	527.03 ㎡	
5	ブルベン	: 鉄骨造	平屋建	289.52 ㎡	
6	トレーニングジム	: 鉄骨造	2階建	126 ㎡	
7	器具庫②	: 鉄骨造	平屋建	59.06 ㎡	
8	競技場選手退避バス	: 鉄骨造	平屋建	10.5 ㎡	
9	本部席	: 鉄骨造	2階建	21.17 ㎡	
10	器具庫①	: 鉄骨造	平屋建	98.66 ㎡	
11	ダックアウト	: 鉄骨造	平屋建	35.62 ㎡	
12	バウスタンド棟	: 鉄骨造	2階建	723.99 ㎡	
13	ブルベン	: 鉄骨造	平屋建	459 ㎡	
14	シャワー室	: 鉄骨造	平屋建	57.90 ㎡	
15	シャワー室	: 鉄骨造	平屋建	83.74 ㎡	
16	シャワー室	: 鉄骨造	平屋建	65.60 ㎡	
17	物置	: 鉄骨造	平屋建	113.07 ㎡	
18	寄宿舎	: 鉄筋コンクリート造3階建		1790.06 ㎡	
19	校舎	: 鉄骨造	平屋建	シャワー室	62.08 ㎡
20	校舎	: 鉄骨造	平屋建	シャワー室	62.08 ㎡
21	校舎	: 鉄骨造	平屋建	シャワー室	62.08 ㎡
22	校舎	: 鉄骨造	2階建	トレーニングセンター	742.32 ㎡

河川敷校地

所在地:
埼玉県川越市大字鯉井字浅間下1878-1 (所有分)
埼玉県川越市大字鯉井字春日64 (借用分)
埼玉県川越市大字鯉井字浅間下1873-3 (借用分)

839 ㎡	(全部所有)
24,366 ㎡	(借用)
672 ㎡	(借用)

高田馬場サテライト
(東京国際大学付属日本語学校)

所在地:
東京都新宿区高田馬場4-23-23
校舎: 鉄筋コンクリート造 5階建 3,301 ㎡

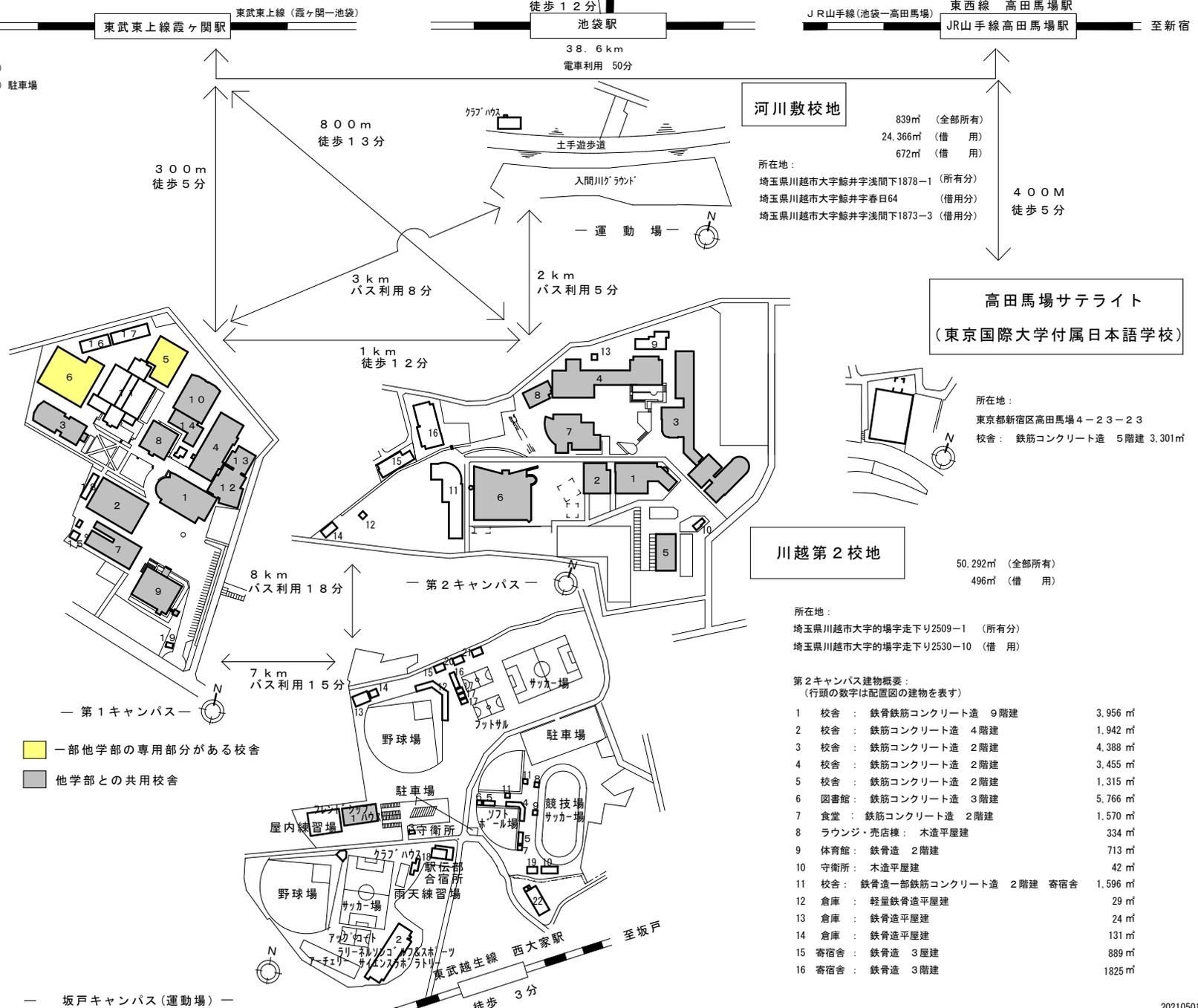
川越第2校地

所在地:
埼玉県川越市大字の場字走下り2509-1 (所有分)
埼玉県川越市大字の場字走下り2530-10 (借用)

50,292 ㎡	(全部所有)
496 ㎡	(借用)

第2キャンパス建物概要:
(行頭の数字は配置図の建物を表す)

1	校舎	: 鉄骨鉄筋コンクリート造	9階建	3,956 ㎡	
2	校舎	: 鉄筋コンクリート造	4階建	1,942 ㎡	
3	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	4,388 ㎡	
4	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	3,455 ㎡	
5	校舎	: 鉄筋コンクリート造	2階建	1,315 ㎡	
6	図書館	: 鉄筋コンクリート造	3階建	5,766 ㎡	
7	食堂	: 鉄筋コンクリート造	2階建	1,570 ㎡	
8	ラウンジ・売店棟	: 木造平屋建		334 ㎡	
9	体育館	: 鉄骨造	2階建	713 ㎡	
10	守衛所	: 木造平屋建		42 ㎡	
11	校舎	: 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	2階建	寄宿舎	1,596 ㎡
12	倉庫	: 軽量鉄骨造平屋建		29 ㎡	
13	倉庫	: 鉄骨造平屋建		24 ㎡	
14	倉庫	: 鉄骨造平屋建		131 ㎡	
15	寄宿舎	: 鉄骨造	3階建	889 ㎡	
16	寄宿舎	: 鉄骨造	3階建	1825 ㎡	



■ 一部他学部の専用部分がある校舎
 ■ 他学部との共用校舎

校舎の平面図（第1キャンパス、第2キャンパス、坂戸キャンパス）・・・省略

2以上の校地において教育を行う場合のそれぞれの校地ごとの状況

学部	第1キャンパス					第2キャンパス					坂戸キャンパス					区分	オ一部の別校地で教育研究を行う場合	学部及び校地ごとにおける教育内容	備考
	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積				
人間社会学部 人間スポーツ 学科	245人	設定なし	0人	0人 (0人)	/	980人	980人	902人	12人 (12人)	/	980人	980人	0人	3人 (3人)	/	1年次で履修する必修科目「大学生生活デザイン演習」、ICT基礎、1年次～2年次で履修する選択科目「スポーツ科学実習:器械体操」、「身体づくり運動」は第1キャンパスで開講。	第1キャンパスと第2キャンパスのそれぞれで授業を担当する教員は1名は第1キャンパスで開講。		
人間社会学部 スポーツ科学 科	210人	設定なし	0人	1人 (1人)		840人	840人	784人	15人 (15人)		840人	840人	0人	0人 (0人)					
既設学部等	5,785人	5,740人	4,349人	138人 (139人)		180人	180人	109人	9人 (9人)										
計	6,240人	5,740人	4,349人	139人 (140人)		36,534㎡ 42,152㎡ (42,152㎡)	2,000人	2,000人	1,795人		36人 (36人)	50,788㎡ 25,413㎡ (25,413㎡)	1,820人	1,820人		0人		3人 (3人)	166,739㎡ 10,945㎡ (10,945㎡)

※収容定員欄には、収容定員の設定がされていない場合は、「設定なし」と記載すること。
 ※専任教員欄、校舎面積欄の()は開設時、()外は完成時の数値を記載すること。
 ※専任教員数について、同一の専任教員が複数の校地で授業を担当する場合には、ダブルカウントし、ダブルカウントする教員の内訳を備考欄に記載すること。

施設・設備等		第一キャンパス	第二キャンパス	坂戸キャンパス	備考
学長室		1室	1室	0室	
会議室		11室	8室	0室	
事務室		18室	4室	1室	
事務職員		129人	15人	5人	
研究室		181室	43室	0室	
教室	講義室	85室	39室	3室	
	演習室	8室	6室	0室	
	実験・実習室	2室	5室	0室	
図書館		4,508㎡ 408,216冊	5,766㎡ 292,135冊	— ㎡ — 冊	
図書館専任職員		1人	0人	0人	
医務室		1室	1室	1室	
学生自習室		5室	2室	0室	
学生控室		9室	3室	3室	
運動場		無	有	有	①第二キャンパス:埼玉県川越市の場2509 10,034㎡ ②坂戸キャンパス:埼玉県坂戸市大字四日市場宇田利75-2 169,739㎡ (第一キャンパス、第二キャンパスから専用バス利用で15分)
体育館		有	有	無	

※2以上の校地で教育を行うことを前提とした申請についてのみ本様式の記載を求めるものです。
 ※研究室が専任教員1人当たり1室でない場合には、備考欄に、研究室の利用形態を記述すること。
 ※運動場が校地の隣接地にない場合には、その旨を備考欄に記述すること。

2以上の校地において教育研究を行う場合のそれぞれの校地ごとの教員の勤務状況

学部名称	番号	氏名	年齢	所属する校地	勤務状況
人間社会学部 人間スポーツ学科	1	前田 秀樹		第2キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・第2キャンパス：随時/週 研究室における研究活動、オフィスアワーの設定。 <ul style="list-style-type: none"> ・坂戸キャンパス：4日/週 担当授業科目（スポーツ科学実習：サッカー初級/中級）の教育、課外活動の指導。
人間社会学部 人間スポーツ学科	2	藤井 奈々		第2キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・第2キャンパス：随時/週 研究室における研究活動、オフィスアワーの設定。 <ul style="list-style-type: none"> ・坂戸キャンパス：4日/週 担当授業科目（スポーツ科学実習：サッカー初級/中級）の教育、課外活動の指導。
人間社会学部 人間スポーツ学科	3	後藤 義一		第2キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・第2キャンパス：随時/週 研究室における研究活動、オフィスアワーの設定。 <ul style="list-style-type: none"> ・坂戸キャンパス：4日/週 担当授業科目（スポーツ科学実習：サッカー初級）の教育、課外活動の指導。
人間社会学部 スポーツ科学科	1	高橋 孝徳		第2キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ・第2キャンパス：2日/週 担当授業科目（基礎演習、初年次演習）の教育、研究室における研究活動、オフィスアワーの設定、教職進路指導、オンラインによるFD委員会への参画。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1キャンパス：2日/週 担当授業科目（スポーツ科学実習：器械体操、身体づくり運動（保体教職））の教育のみ。

東京国際大学学則 (案)

(昭和40年4月1日制定)

改正	昭和44年 9月22日	昭和45年 4月 1日
	昭和50年 4月 1日	昭和51年 4月 1日
	昭和52年 4月 1日	昭和53年 4月 1日
	昭和54年 4月 1日	昭和56年 4月 1日
	昭和57年 4月 1日	昭和58年 4月 1日
	昭和60年 4月 1日	昭和61年 4月 1日
	昭和62年 4月 1日	昭和63年 4月 1日
	平成元年 4月 1日	平成 2年 4月 1日
	平成 3年 4月 1日	平成 3年 7月 1日
	平成 4年 4月 1日	平成 5年 4月 1日
	平成 6年 4月 1日	平成 7年 4月 1日
	平成 7年10月 1日	平成 8年 4月 1日
	平成 9年 4月 1日	平成10年 4月 1日
	平成11年 4月 1日	平成11年 9月 1日
	平成12年 4月 1日	平成13年 4月 1日
	平成13年 9月 1日	平成14年 4月 1日
	平成15年 4月 1日	平成16年 4月 1日
	平成17年 4月 1日	平成18年 4月 1日
	平成19年 4月 1日	平成20年 4月 1日
	平成21年 4月 1日	平成22年 4月 1日
	平成23年 4月 1日	平成24年 4月 1日
	平成25年 4月 1日	平成25年11月 1日
	平成26年 4月 1日	平成 26年 5月 28日
	平成27年 3月11日	平成 27年 5月 27日
	平成27年10月14日	平成 28年 3月 16日
	平成28年4月28日	平成 28年 5月 26日
	2016年10月13日	2016年 12月 5日
	2017年3月16日	2017年 5月 25日
	2017年7月3日	2017年 10月 23日
	2017年12月7日	2018年 3月 15日
	2018年5月24日	2018年 10月 25日
	2019年1月30日	2019年 3月 14日
	2019年5月30日	2019年 10月 24日
	2019年12月20日	2020年 3月 12日
	2020年5月28日	2020年 10月 22日
	2020年12月17日	2021年 3月 11日

第1条 ～ 第7条 (略)

(収容定員)

第8条 本学各学部・学科の収容定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員	収 容 定 員
商 学 部	商 学 科	100名	400名
	経 営 学 科	160名	640名
経 済 学 部	経 済 学 科	475名	1,900名
国 際 関 係 学 部	国 際 関 係 学 科	310名	1,240名
	国 際 メ デ ィ ア 学 科	60名	240名
人 間 社 会 学 部	福 祉 心 理 学 科	45名	180名
	人 間 ス ポ ー ツ 学 科	245名	980名
	ス ポ ー ツ 科 学 科	210名	840名
言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 部	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	250名	1,000名
医 療 健 康 学 部	理 学 療 法 学 科	80名	320名
計		1,935名	7,740名

第9条 ～ 第55条 (略)

附 則 (本件収容定員の変更に関係しないもの) (略)

年 月 日改正附則 (2022年 月 日付認可)

1. この改正学則は、2023年4月1日から施行する。
2. 第8条の規定にかかわらず、2023年度から2025年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次の通りとする。

学 部	学 科	2023 年 度	2024 年 度	2025 年 度
商学部	商学科	400名	400名	400名
	経営学科	480名	560名	640名
経済学部	経済学科	1,860名	1,900名	1,900名
国際関係学部	国際関係学科	1,175名	1,240名	1,240名
	国際メディア学科	240名	240名	240名
人間社会学部	福祉心理学科	140名	160名	180名
	人間スポーツ学科	935名	950名	965名
	スポーツ科学科	810名	820名	830名
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション 学科	980名	1,000名	1,000名
医療健康学部	理学療法学科	240名	320名	320名
計		7,260名	7,590名	7,715名

別表1 (第5章 第13条) (略)

別表2 (第7章 第21条) (略)

学則の変更事項を記載した書類

人間社会学部人間スポーツ学科及び同学部スポーツ科学科の収容定員変更に伴い、学則を次のとおり変更する。

1. 第8条の表中、人間社会学部人間スポーツ学科及びスポーツ科学科の入学定員数、収容定員数を変更する。また、これらの変更に伴い「計」欄を変更する。

(事由) 当該学部・学科の収容定員数変更後の入学定員数、収容定員数を明確にするため。

2. 附則に次の事項を加える。

①施行年月日を明記する。

②2023年度から2025年度までの年度ごとの収容定員を明記する。

(事由) 施行日を明確にするため。

(事由) 完成前年度までの収容定員の変化を明確にするため。

東京国際大学学則 新旧比較対照表

新	旧																																																																																																																																																
<p>○東京国際大学学則</p> <p>第1章 大学の目的及び使命</p> <p>(省略) 第1条～第7条</p> <p>(収容定員)</p> <p>第8条 本学各学部・学科の収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商学部</td> <td>商学科</td> <td>100名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td>160名</td> <td>640名</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> <td>475名</td> <td>1,900名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国際関係学部</td> <td>国際関係学科</td> <td>310名</td> <td>1,240名</td> </tr> <tr> <td>国際メディア学科</td> <td>60名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人間社会学部</td> <td>福祉心理学科</td> <td>45名</td> <td>180名</td> </tr> <tr> <td>人間スポーツ学科</td> <td>245名</td> <td>980名</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>210名</td> <td>840名</td> </tr> <tr> <td>言語コミュニケーション学部</td> <td>英語コミュニケーション学科</td> <td>250名</td> <td>1,000名</td> </tr> <tr> <td>医療健康学部</td> <td>理学療法学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,935名</td> <td>7,740名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(以下省略)</p> <p style="text-align: center;">附 則</p> <p>1 この改正学則は、2023年4月1日から施行する。</p> <p>2 第8条の規定にかかわらず、2023年度から2025年度までの各年度の各学部・学科の収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商学部</td> <td>商学科</td> <td>400名</td> <td>400名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td>480名</td> <td>560名</td> <td>640名</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> <td>1,860名</td> <td>1,900名</td> <td>1,900名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国際関係学部</td> <td>国際関係学科</td> <td>1,175名</td> <td>1,240名</td> <td>1,240名</td> </tr> <tr> <td>国際メディア学科</td> <td>240名</td> <td>240名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人間社会学部</td> <td>福祉心理学科</td> <td>140名</td> <td>160名</td> <td>180名</td> </tr> <tr> <td>人間スポーツ学科</td> <td>935名</td> <td>950名</td> <td>965名</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>810名</td> <td>820名</td> <td>830名</td> </tr> <tr> <td>言語コミュニケーション学部</td> <td>英語コミュニケーション学科</td> <td>980名</td> <td>1,000名</td> <td>1,000名</td> </tr> <tr> <td>医療健康学部</td> <td>理学療法学科</td> <td>240名</td> <td>320名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>7,260名</td> <td>7,590名</td> <td>7,715名</td> </tr> </tbody> </table>	学部	学科	入学定員	収容定員	商学部	商学科	100名	400名	経営学科	160名	640名	経済学部	経済学科	475名	1,900名	国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名	国際メディア学科	60名	240名	人間社会学部	福祉心理学科	45名	180名	人間スポーツ学科	245名	980名	スポーツ科学科	210名	840名	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名	医療健康学部	理学療法学科	80名	320名	計		1,935名	7,740名	学部	学科	2023年度	2024年度	2025年度	商学部	商学科	400名	400名	400名	経営学科	480名	560名	640名	経済学部	経済学科	1,860名	1,900名	1,900名	国際関係学部	国際関係学科	1,175名	1,240名	1,240名	国際メディア学科	240名	240名	240名	人間社会学部	福祉心理学科	140名	160名	180名	人間スポーツ学科	935名	950名	965名	スポーツ科学科	810名	820名	830名	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	980名	1,000名	1,000名	医療健康学部	理学療法学科	240名	320名	320名	計		7,260名	7,590名	7,715名	<p>○東京国際大学学則</p> <p>第1章 大学の目的及び使命</p> <p>(省略) 第1条～第7条</p> <p>(収容定員)</p> <p>第8条 本学各学部・学科の収容定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商学部</td> <td>商学科</td> <td>100名</td> <td>400名</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td>160名</td> <td>640名</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>経済学科</td> <td>475名</td> <td>1,900名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国際関係学部</td> <td>国際関係学科</td> <td>310名</td> <td>1,240名</td> </tr> <tr> <td>国際メディア学科</td> <td>60名</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人間社会学部</td> <td>福祉心理学科</td> <td>45名</td> <td>180名</td> </tr> <tr> <td>人間スポーツ学科</td> <td>230名</td> <td>920名</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学科</td> <td>200名</td> <td>800名</td> </tr> <tr> <td>言語コミュニケーション学部</td> <td>英語コミュニケーション学科</td> <td>250名</td> <td>1,000名</td> </tr> <tr> <td>医療健康学部</td> <td>理学療法学科</td> <td>80名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,910名</td> <td>7,640名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(以下省略)</p>	学部	学科	入学定員	収容定員	商学部	商学科	100名	400名	経営学科	160名	640名	経済学部	経済学科	475名	1,900名	国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名	国際メディア学科	60名	240名	人間社会学部	福祉心理学科	45名	180名	人間スポーツ学科	230名	920名	スポーツ科学科	200名	800名	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名	医療健康学部	理学療法学科	80名	320名	計		1,910名	7,640名
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																																																														
商学部	商学科	100名	400名																																																																																																																																														
	経営学科	160名	640名																																																																																																																																														
経済学部	経済学科	475名	1,900名																																																																																																																																														
国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名																																																																																																																																														
	国際メディア学科	60名	240名																																																																																																																																														
人間社会学部	福祉心理学科	45名	180名																																																																																																																																														
	人間スポーツ学科	245名	980名																																																																																																																																														
	スポーツ科学科	210名	840名																																																																																																																																														
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名																																																																																																																																														
医療健康学部	理学療法学科	80名	320名																																																																																																																																														
計		1,935名	7,740名																																																																																																																																														
学部	学科	2023年度	2024年度	2025年度																																																																																																																																													
商学部	商学科	400名	400名	400名																																																																																																																																													
	経営学科	480名	560名	640名																																																																																																																																													
経済学部	経済学科	1,860名	1,900名	1,900名																																																																																																																																													
国際関係学部	国際関係学科	1,175名	1,240名	1,240名																																																																																																																																													
	国際メディア学科	240名	240名	240名																																																																																																																																													
人間社会学部	福祉心理学科	140名	160名	180名																																																																																																																																													
	人間スポーツ学科	935名	950名	965名																																																																																																																																													
	スポーツ科学科	810名	820名	830名																																																																																																																																													
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	980名	1,000名	1,000名																																																																																																																																													
医療健康学部	理学療法学科	240名	320名	320名																																																																																																																																													
計		7,260名	7,590名	7,715名																																																																																																																																													
学部	学科	入学定員	収容定員																																																																																																																																														
商学部	商学科	100名	400名																																																																																																																																														
	経営学科	160名	640名																																																																																																																																														
経済学部	経済学科	475名	1,900名																																																																																																																																														
国際関係学部	国際関係学科	310名	1,240名																																																																																																																																														
	国際メディア学科	60名	240名																																																																																																																																														
人間社会学部	福祉心理学科	45名	180名																																																																																																																																														
	人間スポーツ学科	230名	920名																																																																																																																																														
	スポーツ科学科	200名	800名																																																																																																																																														
言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	250名	1,000名																																																																																																																																														
医療健康学部	理学療法学科	80名	320名																																																																																																																																														
計		1,910名	7,640名																																																																																																																																														

学則の変更の趣旨等を記載した書類

(収容定員変更に係る学則変更)

東京国際大学



目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容.....	3
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性.....	3
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容.....	5
3.1. 教育課程の変更内容.....	5
3.1.1. 人間社会学部 人間スポーツ学科.....	5
3.1.2. 人間社会学部 スポーツ科学科.....	8
3.2. 教育方法及び履修指導方法の変更内容.....	10
3.2.1. 全学的取組.....	10
3.2.2. 人間社会学部 人間スポーツ学科／スポーツ科学科.....	10
3.3. 教員組織の変更内容.....	12
3.4. 大学全体の施設・設備の変更内容.....	12
4. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画.....	13

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和5年度から、東京国際大学学則第8条に定める、人間社会学部人間スポーツ学科、人間社会学部スポーツ科学科の入学定員及び収容定員を以下のように変更する（表1）。人間スポーツ学科は入学定員を15名拡大することで、現在の230名から245名へと増員する。スポーツ科学科については入学定員を10名拡大することで、入学定員を現在の200名から210名へと増員する。

表1. 令和5年度 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人間社会学部	人間スポーツ学科	230人	920人	245人	980人	+15人	+60人
	スポーツ科学科	200人	800人	210人	840人	+10人	+40人
合計		430人	1,720人	455人	1,820人	+25人	+100人

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

今般の収容定員変更は、両学科の規模を拡大し、社会で求められている有為な人材をより多く輩出することを目的としている。

東京国際大学は1965年、「国際商科大学」として創設され、商学部商学科を擁する4年制単科大学として発足した。その後、社会からのニーズに合わせて様々な学部学科を設置し、現在は6学部10学科を擁する総合大学として発展している。建学の精神として「公德心を体した真の国際人の養成」を掲げ、建学時からの教育目標である「Vision, Courage, Intelligence を身に付けた人材づくり」を具現化するために、「スポーツの東京国際大学」「英語力の東京国際大学」を柱とした教育事業展開を強力に推進している。

「スポーツの東京国際大学」を本学において特に体現する人間社会学部人間スポーツ学科及び人間社会学部スポーツ科学科について述べると、人間スポーツ学科は「世界共通の文化としてのスポーツ」に学問として取り組み、競技スポーツから生涯スポーツまで様々な理論と実践的方法を学ぶ学科として2011年に設置された。スポーツのもつ限りないポテンシャルを活かし、一人ひとりの生活や地域・社会づくりへの貢献まで、幅広いフィールドにおける支援者・指導者となれる人材を養成している。

スポーツ科学科については、様々なスポーツ競技のトップアスリート及びアスリートを支える指導者を養成することを目的とし、2012年に設置された。スポーツのみならず、社会・文化・福祉・心理に関する知識を横断的に学び、スポ

ーツを多様な視点から科学的に探究。競技の第一線で活躍できるアスリート・指導者を養成している。

両学科には様々なスポーツに取り組む学生が多く在籍しており、大学スポーツの場での活躍だけではなく、2021年東京オリンピックへの本学OBの出場など、学科の設置から僅か10年程の間にスポーツ競技において多彩な成果をあげている。また、過去3年間における卒業生の就職率はいずれの学科も100%を維持しており（表2）、社会から求められる人材を確実に養成できている。このように、今後も人間スポーツ学科とスポーツ科学科は「スポーツの東京国際大学」を牽引する存在として大きな成果を生み出し、社会に向けて有為な人材を送り出していくと考える。

表2. 各学科の就職実績

	平成30年度卒			令和元(平成31)年度卒			令和2年度卒		
	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率
人間社会学部 人間スポーツ学科	174	174	100.0	205	205	100.0	199	199	100.0
人間社会学部 スポーツ科学科	140	140	100.0	166	166	100.0	155	155	100.0

翻って本学を取り巻く社会の現状を見ると、我が国においては、国・地方公共団体・スポーツ団体等が一体となり、「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活」を営むことができるスポーツ立国を実現していくことが、政策方針として示されている。スポーツを社会に浸透させていくことを目指し、2017年には第2期スポーツ基本計画が策定された。この計画の中では、「スポーツを『する』『みる』『ささえる』スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実」など、「一億総スポーツ社会」を実現していくための種々の施策が提起され、実行に移されている。このように、現代及び次代におけるスポーツとは一部の者だけに関わる営為ではなく、スポーツによる健康長寿の実現や経済・地域の活性化など、広く社会で価値をもつものとして重要視されている。

2021年度中には後継の第3期スポーツ基本計画が策定される予定であり、併せて第2期の計画で定められた政策目標の進捗も確認がなされている。その結果を示した「第2期スポーツ計画『今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策』における政策目標ごとの進捗状況と課題」によると、スポーツ立国の実現に向けて、現状では達成できていない目標が多く存在する。例えば、スポーツ参画人口拡大のための人材育成については、「指導者の育成に関する施策等に取り組んできたが、公認スポーツ指導者資格の普及については更なる取組が必要。

（中略）必要な知識、技能を有する資格保持のスポーツ指導者の質と量の確保を

引き続き推進していく。」と述べられている。

このような状況の中、「スポーツ」を教育の軸のひとつとしている本学としては、スポーツ立国の実現に際して未だ多くの課題が存在する現状に対し、スポーツに関わるより多くの人材を社会に送り出していくことが、教育機関としての役割だと考える。従って、人間スポーツ学科及びスポーツ科学科の規模を拡大し、社会で求められている有為な人材をより多く輩出することを目的に今回の収容定員変更を企図している。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

3.1. 教育課程の変更内容

今回の収容定員変更にあたっては、社会から評価されている教育の質を維持し、現代社会で求められている人材養成に引き続き努めていく。

本学の卒業生について、日経 HR「価値ある大学 2020 年版 就職力ランキング」では、卒業生に対するイメージとして「対人力（コミュニケーション能力が高い、ストレス耐性が高い、柔軟性・適応力がある）」は第 14 位、「独創性（創造力がある、個性がある、着眼点がよい）」は第 14 位に位置しており、企業の採用担当者から高く評価されている。また、卒業生の就職率についても、前述したとおり高い水準で推移し、人間スポーツ学科とスポーツ科学科は過去 3 年間継続して就職率 100%を達成している（表 2）。

このように本学が養成する人材は社会から高い評価を得ており、人間スポーツ学科とスポーツ科学科のいずれについても、増員した学生数に見合った教育体制を構築し、教育の質を維持していく。各学科の人材養成・教育研究上の目的、教育課程の概要、及び教育課程の特色は下記のとおりである。

3.1.1. 人間社会学部 人間スポーツ学科

学則に定める人材養成・教育研究上の目的を以下に記す。

人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探究し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成する。

人間スポーツ学科は、スポーツの知識及び技能を修得し、社会貢献に欠かせない行動力や指導力を心身の両面から備えた人材を育成する。

換言すると、人間スポーツ学科は健康の維持・増進への社会的ニーズに応え、幅広い世代・レベルに対応できる運動・スポーツ指導のエキスパートを養成している。

具体的には、スポーツが人々の生活や社会に与える影響を理解し、スポーツをより有効に活用するためのスポーツ教育に関する専門的な知識や指導方法を修得。生徒をはじめとする多様な対象者に応じた適切な指導、教育ができる人材を養成する。また、子どもから高齢者まで、すべての人々が健康で豊かな生活を送るために必要な専門的知識と指導法、スポーツプログラムのサポート活動を企画運営する方法を修得。生涯スポーツを中心とした、健康増進活動を支援する人材や指導者を養成する。

人間スポーツ学科において取得可能な資格は下表のとおりである（表 3）。

表 3. 取得可能な資格

資格	備考
教員免許状	小学校教諭一種 中学校教諭一種（保健体育） 高等学校教諭一種（保健体育）
スポーツ・リーダー	
トレーニング指導者	受験資格
健康運動指導士	受験資格
健康運動実践指導者	受験資格

上記の人材養成を達成する上で設定した教育課程（資料 1）について述べる。教育課程の科目は大別すると 2 つに区分されており、「基礎教育科目」と「専門教育科目」で構成される（表 4）。

表 4. 人間スポーツ学科 教育課程の構成

基礎教育科目	専門教育科目	
	学科間共通専門科目	学科別専門科目
<ul style="list-style-type: none"> ・ TIU コア科目 ・ 教養コア科目 ・ 言語スキル科目 ・ 自由選択科目 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ科目 ・ 福祉科目 ・ 心理科目 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育科目 ・ 演習・卒業研究 ・ キャリア科目 ・ スポーツ理論専門科目 ・ スポーツ実技専門科目 ・ 教職系科目

基礎教育科目には、大学での学修の基礎等を学ぶ「TIU コア科目」、幅広い教養を身につけるための「教養コア科目」、英語等の外国語を修得するための「言語スキル科目」、プロジェクト形式で地域課題に取り組む科目やキャリア形成支援の科目等から編成された「自由選択科目」が含まれている。

専門教育科目については、更に「学科間共通専門科目」と「学科別専門科目」

に区分される。

「学科間共通専門科目」は人間社会学部の各学科に共通して配置している科目であり、人間社会学部が人材養成・教育研究上の目的として掲げるスポーツ、福祉、心理の各分野について、その基礎の修得を主な目的として編成している。

一方、「学科別専門科目」はスポーツ理論専門科目、スポーツ実技専門科目、教職系科目によって構成され、人間スポーツ学科の目的とする人材養成に沿った教育体系となるよう、各科目を配置している。人間スポーツ学科特有の科目として、スポーツが人々の生活や社会に与える影響を理解し、より有効に活用する力を身につけるための「身体運動文化論」「国際スポーツ文化論」「スポーツビジネスマネジメント」等の科目、生涯スポーツを中心とした健康増進活動の支援・指導方法を学ぶための「生涯スポーツ概論」「体力測定評価」「運動処方論」等の科目、他者とのコミュニケーションにおいて身体活動のもつ意義や実践方法を学ぶための「レクリエーション論」「野外教育論」「野外実習」等の科目を配置している。

人間スポーツ学科では、社会におけるスポーツの意義と歴史、スポーツ振興や健康増進を支援・指導するために必要とされる健康、運動、栄養に関する専門知識と実践方法、教育現場等で必要とされる子どもの心理やスポーツ教育、野外教育、レクリエーションに関する専門知識と実践方法、これらを学び、幅広い世代・レベルに対応できる運動・スポーツ指導のエキスパート養成を目的として教育課程を編成している。

次いで、実際に学生が教育課程を進めていく流れについて、概要を述べる。

学生は入学後、まず大学での学修の基礎を身につけた上で専門分野を基礎から体系的に学んでいく。初年次には全学部横断で大学生生活デザイン演習及び ICT 基礎を受講し、キャリア教育の導入部分を担うと同時に、共同学習・プレゼンテーション・IT リテラシー等の学生生活上の基礎的スキルを修得する。学部毎に開講される初年次演習についてもアカデミック・リテラシー教育を徹底している。

学修の基礎を身につけた後、専門分野についての実践的な知識・技能を、実技や実習を通じて修得する。例えば、人間スポーツ学科の専門科目「体力測定評価」では、スポーツ実験実習室という本学施設を使い、実習を交えながら学んでいく。スポーツ実験実習室は、酸素摂取量や脳血流、骨密度、筋力・筋パワーなど身体活動中の様々な生体反応を測定し、生理学や体力医科学、栄養学、生体力学といった視点から分析することが可能な施設であり、様々な科目や卒業研究でも活用されている。「体力測定評価」では、実際に体力や運動能力を学生同士で計測し合いながら、安全・正確・効率的な測定手法を修得する。このような実践的学

びにより、学生は自らの専門性を深め、社会の現場で様々な課題に取り組む力をもった人材を目指す。

3.1.2. 人間社会学部 スポーツ科学科

学則に定める人材養成・教育研究上の目的を以下に記す。

人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探究し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成する。

スポーツ科学科は、人間諸科学の総合的な視点から、幅広く深い国際的な教養と豊かな人間性を兼ね備えたスポーツ競技者及びその指導者を目指す人材を養成する。

換言すると、スポーツ科学科はスポーツを多様な視点から科学的に探究し、第一線で活躍できるトップアスリート、指導者を養成している。

具体的には、スポーツパフォーマンスの向上を目指しながら、身体・心理・栄養・技術・戦術などの幅広い視点からトレーニングの理論と方法を学び、競技力向上に結びつく科学的・専門的な知識を修得。各種目のトップアスリートやエキスパートを養成する。また、スポーツ選手の競技力向上やトレーニング、アスレティックリハビリテーションや救急処置など、スポーツの現場で活動するための知識や技術を学び、指導法を修得。トップアスリートからスポーツ愛好者まで幅広く対応できる指導者を養成する。

取得可能な資格は人間スポーツ学科と同様で、表 3 に示したとおりである。

上記の人材養成を達成する上で設定した教育課程（資料 2）について述べる。教育課程の科目は大別すると 2 つに区分されており、「基礎教育科目」と「専門教育科目」で構成される（表 5）。

表 5. スポーツ科学科 教育課程の構成

基礎教育科目	専門教育科目	
	学科間共通専門科目	学科別専門科目
<ul style="list-style-type: none"> ・ TIU コア科目 ・ 教養コア科目 ・ 言語スキル科目 ・ 自由選択科目 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ科目 ・ 福祉科目 ・ 心理科目 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育科目 ・ 演習・卒業研究 ・ キャリア科目 ・ スポーツ理論専門科目 ・ スポーツ実技専門科目 ・ 教職系科目

基礎教育科目には、大学での学修の基礎等を学ぶ「TIU コア科目」、幅広い教養を身につけるための「教養コア科目」、英語等の外国語を修得するための「言語スキル科目」、プロジェクト形式で地域課題に取り組む科目やキャリア形成支援の科目等から編成された「自由選択科目」が含まれている。

専門教育科目については、更に「学科間共通専門科目」と「学科別専門科目」に区分される。

「学科間共通専門科目」は人間社会学部の各学科に共通して配置している科目であり、人間社会学部が人材養成・教育研究上の目的として掲げるスポーツ、福祉、心理の各分野について、その基礎の修得を主な目的として編成している。

一方、「学科別専門科目」はスポーツ理論専門科目、スポーツ実技専門科目、教職系科目によって構成され、スポーツ科学科の目的とする人材養成に沿った教育体系となるよう、各科目を配置している。スポーツ科学科特有の科目として、競技者心理や身体機能、技術・戦術等の多様な視点からトレーニング理論と実践方法を学ぶための「メンタルトレーニング演習」「スポーツ生理学実習」「スポーツコーチング論」等の科目、アスリートに付いてまわる怪我やリハビリテーションについての知識・技術を学ぶための「スポーツ外傷・障害」「解剖生理学」「アスレティックリハビリテーション演習」等の科目、個別のスポーツに特化したコーチング方法を学ぶための「サッカーコーチング演習」「ゴルフコーチング演習」等の科目を配置している。また、スポーツ実技専門科目では、各種スポーツについて基礎的な初級科目から専門性を高めた上級科目まで配置し、高度な技能や指導法を実習によって学ぶことが可能となっている。

スポーツ科学科では、身体・心理・栄養・技術・戦術等の幅広い視点による科学的トレーニング及びコーチングの理論・実践方法、スポーツ障害の予防や怪我からのリハビリテーションに関する専門知識と技術、各種スポーツについての高度な技能と指導方法、これらを学び、スポーツを多様な視点から科学的に探究するトップアスリート・指導者養成を目的として教育課程を編成している。

次いで、実際に学生が教育課程を進めていく流れについて、概要を述べる。

学生は入学後、まず大学での学修の基礎を身につけた上で専門分野を基礎から体系的に学んでいく。初年次には全学部横断で大学生生活デザイン演習及び ICT 基礎を受講し、キャリア教育の導入部分を担うと同時に、共同学習・プレゼンテーション・IT リテラシー等の学生生活上の基礎的スキルを修得する。学部毎に開講される初年次演習についてもアカデミック・リテラシー教育を徹底している。

学修の基礎を身につけた後、専門分野についての実践的な知識・技能を、実技や実習を通じて修得する。例えば、スポーツ科学科の専門科目「アスレティック

リハビリテーション演習」では、本学施設のトレーニングルームを活用し、実践的に学んでいく。本学のトレーニングルームには、筋力、持久力、調整力などの基本的なトレーニングを行うための器材から、高度で機能的な運動を行うための器材までが揃えられており、トレーナーを養成する科目などで活用されている。「アスレティックリハビリテーション演習」では、アスレティックトレーナーとしての実務経験を有する教員から、怪我を負ったアスリートが復帰するまでに必要なリハビリテーションの方法を、トレーニング器材を実際に用いて修得する。このような実践的学びにより、学生は自らの専門性を深め、社会の現場で様々な課題に取り組む力をもった人材を目指す。

3.2. 教育方法及び履修指導方法の変更内容

3.2.1. 全学的取組

各学科の教育方法及び履修指導について述べる前に、全学的な教育制度・教育環境整備の取り組みについて説明を行う。

・教育制度

本学は全学的に Semester 制を導入しており、その本旨に則り 4 単位科目の拡充、各科目週 2 回～3 回開講、時間割配置パターンの固定化を徹底している。また、GPA は国際通用性を持ちうる体系としたうえで厳格に運用、科目ナンバリング導入による学びの体系化を図っている。学生の学習密度強化のため 1 Semester 20 単位を基本とするキャップ制を導入している。

以上については、学則変更（収容定員変更）後も支障なく運用可能であり、特段の対応変更を行わない。

・教育環境整備

授業外での語学学習環境を整備するため、イングリッシュ・プラザ及びジャパニーズ・プラザを設置している。イングリッシュ・プラザにはネイティブ・スピーカー英語教員や外国人留学生スタッフが常駐し、会話のパートナー、学習支援を行っている。

これら教育環境についても、学則変更（収容定員変更）後も支障なく運用可能であり、特段の対応変更を行わない。

3.2.2. 人間社会学部 人間スポーツ学科／スポーツ科学科

人間スポーツ学科及びスポーツ科学科の教育方法・履修指導方法について、併せて述べる。

両学科では、初年次に大学での学修の基礎を修得するための科目を配置し、基

礎から専門へと体系的に学んでいく。本学の施設を活用した実践的な学びを重視し、実技や実習を通じて、専門的な知識・技能を身につけていく。また、初年次演習を通じて学科の学びの指導を行い、年度始めには履修ガイダンスならびに個別の履修相談期間を設定し指導を行っている。教員免許、健康運動指導士、トレーニング指導者などの資格取得を目指す学生に対しては、必要な科目を履修するカリキュラムを設定する。

収容定員の変更は、主に少人数クラスに影響することが考えられる。人間スポーツ学科及びスポーツ科学科では初年次演習、基礎演習、専門演習といった演習科目が少人数クラス科目に該当する。両学科を合わせた令和3年度のクラスあたり平均履修者数は、初年次演習 31.7 人、基礎演習 20.2 人、専門演習 18.7 人である（表 6）。担当教員の人数については、初年次演習は 13 名、選択科目である基礎演習は 9 名、同じく選択科目である専門演習は 15 名の教員が担当している。

表 6. 演習科目の履修者数

	令和3年度			増員後（推計）		
	履修者数	担当教員数	クラスあたり平均履修者数	履修者数※	担当教員数	クラスあたり平均履修者数
初年次演習	412	13	31.7	455	15	30.3
基礎演習	182	9	20.2	193	10	19.3
専門演習	280	15	18.7	296	16	18.5

※令和3年度 履修者数×1.06（初年次演習については入学定員人数）

今回の増員によって、両学科合計の入学定員は 430 名から 455 名に増加（1.06 倍）となるため、各演習の履修者数も増加が見込まれる。ただし、両学科には現行でも合計 27 名の専任教員が所属しているため、学生のニーズに応じてクラス数を増やし、増加する履修者に対応する。定員変更による増員後も現在のクラスサイズを維持し、十分な教育水準を確保できると考えている。

演習科目のクラスサイズについて、増員後の推計結果を表 6 に示した。平均履修者数の推計を行うにあたり、初年次演習の履修者数は入学定員と同数、基礎演習と専門演習は現在の履修者数の 1.06 倍（455 名／430 名）と想定し、演習科目のクラスサイズ・担当教員数を算出した。増員前と同等のクラス規模で演習を実施すると仮定した場合、増員後に必要とされる担当教員数は初年次演習 15 人、基礎演習 10 人、専門演習 16 人と推計され、現行の教員組織体制でも十分に対応が可能である。

また、比較的大人数が履修する講義科目（学部共通科目等）については、仮に履修者が過剰になったとしても、同一科目の複数クラス開講や春秋両学期での開講等、履修者を分散し、適正な人数規模のクラスとなるよう科目を設定する。

以上のように、少人数・大人数いずれの科目についても、十分な教育効果をもった授業として増員後も実施していくことが出来ると考える。

3.3. 教員組織の変更内容

大学設置基準第 13 条に定められている専任教員数について、収容定員増後の基準教員数の観点で見えていく。

いずれの学科も増員に合わせて教員組織の拡充を行う。人間スポーツ学科については、増員後の基準教員数は 13 名であるが、収容定員を変更する令和 5 年度から完成年度にかけて、常に 15 名以上の教員を配置していく計画である。スポーツ科学科についても、増員後の基準教員数 12 名に対して、収容定員を変更する令和 5 年度から完成年度にかけて、常に 15 名以上の教員を配置していく計画である。

上記のとおり、いずれの学科も基準を上回る人数の教員を配置し、充実した教育を実行していく。教員の退職等で欠員が生じる場合は適宜補充を行い、基準教員数を上回る専任教員を確保する。補充にあたっては、教員の専門分野や年齢等のバランスを考慮し、長期的な継続性をもった教員組織を編成していく。

本学では、各学部所属の教員のほか、以下のような学部横断的教育・研究組織を設置し、全学的な教育・研究活動に従事させている。今回学則変更対象となる学科においても、これら組織の貢献は極めて大きい。

全学的な英語教育組織グローバル・ティーチング・インスティテュート (GTI) を設置し、現在 46 人の北米出身の英語ネイティブ教員を擁している。GTI は 1 クラス 10 名程度の対話型授業できめ細やかな指導を行っており、今後についてもその質を担保するよう努めていく。

このように、今回の収容定員変更後における対象学科の教育課程実施に教員組織上の問題はない。本学としては、受験生及び社会に評価されているこの組織を更に発展させていくために、専門性、年齢、保有学位・教歴、多様性等のバランスに配慮し、教育効果を発揮できる教員組織の編成に努めていく。

3.4. 大学全体の施設・設備の変更内容

今回の収容定員変更に際して、大学全体の施設・設備の変更は行わない。埼玉県川越市に所在する本学第 1、第 2 キャンパスは、校地面積 77,288 m²、校舎面

積 61,023 m²の規模を持ち、校舎面積として十分に大学設置基準が定める水準を充たしている。

第1キャンパスには、イングリッシュ・プラザ、ジャパニーズ・プラザといった学習スペースを設置しており、主に第2キャンパスで学ぶ人間スポーツ学科及びスポーツ科学科の学生も利用が可能である。

第2キャンパスには、スポーツ実験実習室やトレーニングルームといったスポーツに関する施設を整備しており、両学科の学生が実践的に学ぶ場として活用できる。

更に、総合スポーツ・グラウンド施設として校地面積 166,739 m²の坂戸キャンパスを備えている。坂戸キャンパスの広大な敷地には野球スタジアム、サッカー場、陸上競技場、ソフトボール場など、大学トップレベルの施設を展開している。各種競技について、世界を知る指導者を多数招聘し、一流の指導者と充実した設備の元でスポーツに取り組む機会を学生に提供している。

これらの施設・設備は収容定員の増員後も支障なく運用可能である。

4. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

人間スポーツ学科及びスポーツ科学科は原則的に本学第2キャンパスで学修に取り組んでいくが、一部の科目については第1キャンパスと坂戸キャンパスで授業を受ける（資料1、資料2）。具体的には、1年次の必修科目である「大学生活デザイン演習」及び「ICT基礎」の2科目は全学部横断でクラス編成をするため、第1キャンパスで開講する。また、一部のスポーツ実技専門科目は当該スポーツに適した施設・設備を利用するため、第1キャンパス体育館あるいは坂戸キャンパスのスポーツ施設で開講する。両学科は複数の校地において教育を行うことになるため、教育体制について具体的計画を詳述する。なお、校地が別の場所となる科目は1年次の春学期に履修する「大学生活デザイン演習」と「ICT基礎」、一部のスポーツ実技専門科目のみで限定的なため、各校地ごとに収容定員は定めていない。

まずは教員への配慮について述べる。第1キャンパスで開講される「大学生活デザイン演習」と「ICT基礎」の担当は人間スポーツ学科・スポーツ科学科所属の教員ではないため、当該2科目について、第2キャンパスに配置される両学科教員へ特段の配慮は行わない。スポーツ実技専門科目については、開講曜日を週の内いずれか一つの曜日に限定し、教員が校地間を移動する必要があるだけ少なくなるよう科目を設定している。付言すると、スポーツ実技専門科目の多くは、それぞれのスポーツに精通した非常勤講師を担当教員としている。これら科目の非常勤講師が別のキャンパスで開講する科目を担当することは原則ないため、授業の実施に際して、校地間の移動を実際に教員が求められることは稀

である。

次いで、学生への配慮について述べる。第1キャンパスと第2キャンパス間は片道徒歩12分程度で移動でき、休憩時間の長い昼休みに移動を行えば、午前には第2キャンパスでの授業を受け、午後は第1キャンパスで授業を受けるといった時間割も可能である。一方、第1キャンパスと坂戸キャンパス間、及び第2キャンパスと坂戸キャンパス間については電車での移動が必要になり、キャンパス間を移動するにはより長い時間が掛かる。そのため、利便性の高い移動手段として本学シャトルバスを昼休み等に運行し、学生の時間割への配慮を行っている。シャトルバスによって両キャンパス間は片道30分程度で移動でき、学生は午前と午後に異なるキャンパスで授業を受けることも容易となる。

施設・設備等に関しては、第1キャンパス及び坂戸キャンパスの施設・設備には十分な余裕があり、今回増員する両学科の学生も含めて「大学生活デザイン演習」、「ICT基礎」、スポーツ実技専門科目の授業を運営することに問題はない。

以上のように、人間スポーツ学科とスポーツ科学科では、複数の校地で教育を行う上で問題のない教育体制を構築していく。

添付資料

(学則の変更の趣旨等を記載した書類)

東京国際大学



目次

資料 1. 教育課程等の概要（人間社会学部 人間スポーツ学科）	3
人間社会学部 人間スポーツ学科 全体	3
人間社会学部 人間スポーツ学科 第1キャンパス	6
人間社会学部 人間スポーツ学科 第2キャンパス	7
人間社会学部 人間スポーツ学科 坂戸キャンパス	10
資料 2. 教育課程等の概要（人間社会学部 スポーツ科学科）	11
人間社会学部 スポーツ科学科 全体	11
人間社会学部 スポーツ科学科 第1キャンパス	14
人間社会学部 スポーツ科学科 第2キャンパス	15
人間社会学部 スポーツ科学科 坂戸キャンパス	18

資料1. 教育課程等の概要（人間社会学部 人間スポーツ学科）

人間社会学部 人間スポーツ学科 全体

別記様式第2号（その2の1）

全体

（用紙 日本工業規格A4縦型）

教育課程等の概要															
(人間社会学部人間スポーツ学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
T I U コ ア	大学生活デザイン演習	1前	2					○						兼1	
	初年次演習	1前・後	2+2					○						兼10	
	ICT基礎	1前	2				○							兼1	
	小計（3科目）	—	8	0	0			—		3	2	2	0	0	兼11
教 養 コ ア 科 目	人間と文化	1後		4				○							兼3
	倫理学	1前・後		4				○							兼3
	芸術論	1前・後		4				○							兼2
	文学	1前・後		4				○							兼2
	ことば学入門	1前・後		4				○							兼2
	アジア・アラブ史	1前		4				○							兼1
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前		4				○							兼1
	日本史	1前・後		4				○							兼2
	地理学概論	1後		4				○							兼1
	人文地理学	1後		4				○							兼1
	日本の文化	1前・後		4				○							兼1
	異文化概論	1前・後		4				○							兼2
	文化人類学	1前・後		4				○							兼1
	Introduction to American Society	1後		4				○							兼2
	Life & Tradition in America	休		4				○							
現 代 社 会	法学	1前・後		4				○							兼2
	憲法	1前・後		4				○							兼1
	政治学	1前・後		4				○							兼3
	経済学	1前・後		4				○							兼4
	社会学	1前・後		4				○							兼2
	現代の社会	1前・後		4				○							兼1
	心理学概論	1前・後		4				○							兼4
自 然 科 学 と 環 境	自然科学概論	1後		4				○							兼1
	環境と自然	1前・後		4				○							兼3
	科学思想史	1後		4				○							兼1
	統計学入門	1前・後		4				○							兼4
	情報処理の基礎	1前・後		4				○							兼2
ホ ル ド ン コ ア	健康・スポーツ科学	1前・後		4				○							兼2
	健康・スポーツ実技	1前・後		1						○					兼7
	小計（29科目）	—	0	113	0			—		0	1	0	0	0	兼47
言 語 ス キ ル 科 目	英語	1前・後		2				○							兼7
	Reading & Writing	1前・後		2				○							兼4
	English Workshop	1前・後		2				○							兼1
	Media English	1前		2				○							兼1
	Communication Basic I	1前		2				○							兼2
	Communication Basic II	1後		2				○							兼2
	English Comprehension I	1前		2				○							兼2
	English Comprehension II	1後		2				○							兼2
	Basic Speaking I	1前		1				○							兼2
	Basic Speaking II	1後		1				○							兼2
	Basic Writing I	1前		1				○							兼2
	Basic Writing II	1後		1				○							兼2
	Intermediate Speaking and Listening A	2前		2				○							兼2
	Intermediate Speaking and Listening B	2後		2				○							兼2
Intermediate Reading and Writing A	2前		2				○							兼2	
Intermediate Reading and Writing B	2後		2				○							兼2	

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○									兼1		
		実践ドイツ語	1後		2		○									兼1		
		フランス語入門	1前		2		○									兼1		
		実践フランス語	1後		2		○									兼1		
		スペイン語入門	1前		2		○									兼1		
		実践スペイン語	1後		2		○									兼1		
		中国語入門	1前・後		2		○									兼3		
		実践中国語	1後		2		○									兼2		
		ハングル入門	1前・後		2		○									兼1		
		実践ハングル	1後		2		○									兼1		
		ロシア語入門	1前		2		○									兼1		
		アラビア語入門	1前		2		○									兼1		
		日本語	留学生	アカデミック日本語	1前		2		○									兼1
日本語ワークショップ	1後				2		○								兼1			
ビジネス日本語	2前				2		○								兼1			
		小計 (31科目)	—	0	58	0	—			0	0	0	0	0	0	兼13	—	
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○									兼1		
		インターンシップ	2前		1				○							兼1		
		グローバルインターンシップ	2後		4					○						兼1		
		ボランティア活動	1前		1					○						兼1		
		アカデミック・ライティング	1前		2		○									兼1		
		キャリア・Re-スタート	1後		2		○									兼1		
	地域の安全と警察	2後		2		○									兼1			
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2					○							兼3	
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2					○						兼1		
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2					○						兼1		
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2					○						兼1		
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1					○						兼1		
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1					○						兼1		
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1					○						兼1		
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1				○							兼1		
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○	○						兼1		
		海外ゼミナールB	1前・後		2				○							兼1		
		特別授業A	2前・後		2		○									兼1		
		特別授業B	2前・後		4		○									兼1		
		スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2					○		2	2	1		兼8		
		スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2					○		2	2	1		兼8		
	基礎科目特殊講義A	1前・後		2		○									兼1			
	基礎科目特殊講義B	1前・後		4		○									兼1			
		小計 (23科目)	—	0	48	0	—			2	2	1	0	0	兼25	—		
学科間共通専門科目	卒業演習・卒業研究	基礎演習	2前・後		2				○		2	3				兼6		
		専門演習	3通		4				○		4	4	3			兼7		
		卒業研究	4後		4				○		2	2	1			兼6		
	教育	教育原理	2前・後		4		○						1			兼1		
		教育相談	2前・後		2		○									兼1		
	福祉	社会福祉概論	1後		4		○									兼1		
		児童福祉論	1後		4		○									兼1		
		福祉教育論	1前		4		○									兼1		
		医療社会論	1後		4		○									兼1		
	心理	教育心理学	1後		4		○									兼2		
		発達心理学	1後		4		○									兼1		
		対人関係論	2前		4		○									兼1		
		社会心理学	2前		4		○									兼1		
	スポーツ	スポーツ社会学	1後		4		○									兼2		
		スポーツ心理学	1後		4		○					1				兼1		
		スポーツ・アドミニストレーション入門	2前		2		○					1						
		スポーツ・アドミニストレーション	3前		2		○				1							
スポーツ産業論		2後		2		○									兼1			
スポーツウェルネス		3前		4		○				1								
コミュニケーションスポーツ論	3前		4		○									兼2	オムニパス			
リキヤ	人間社会学部特殊講義A	3前		2		○									兼1			
	人間社会学部特殊講義B	3後		4		○									兼1			

人間スポーツ学科学科別専門科目	教職系	身体づくり運動	1後		2				○		1				兼1	
	スポーツ学科学科別専門科目	スポーツ哲学	1後		2				○							兼1
		体育史	1後		2				○							兼1
		スポーツ技術・戦術論	1後		2				○							兼1
		健康運動実習Ⅰ	2前		1				○	1						兼1
		応用スポーツ医学Ⅰ	2前		2				○							兼1
		応用スポーツ医学Ⅱ	2前		2				○							兼1
		エアロビクスⅠ	1後		4				○	1						兼1
		救急・応急処置	1後		2				○	1	1					
		運動機能解剖学	1後		4				○		1					
		スポーツ生理学	1後		4				○	1						
		スポーツ栄養学	1後		4				○							兼1
		身体運動文化論	2前		4				○		1					
		野外教育論	1後		2				○							兼1
		レクリエーション論	2前		2				○							兼1
		スポーツトレーニング論	2後		4				○	1						
		コンディショニング演習	2後		2				○		1					兼1
		衛生・公衆衛生学	2後		4				○							兼1
		健康管理概論	4前		4				○							兼1
		スポーツ政策	2後		2				○		1					
		健康運動実習Ⅱ	2後		1				○							兼1
		応用スポーツ医学Ⅲ	2後		2				○							兼1
		エアロビクスⅡ	2後		2				○	1						
		実践スポーツ英語	2後		4				○							兼1
		学校保健	3前		4				○		1					
		スポーツ運動学	3前		2				○							兼1
		スポーツ医学	2後		4				○	1						
		体力測定評価	2後		2				○		1					
		運動処方論	3前		4				○	1						
		スポーツバイオメカニクス	3前		4				○	1						
		国際スポーツ文化論	2後		4				○							兼1
		スポーツ教育学	2後		4				○							兼1
		生涯スポーツ概論	2後		4				○							兼1
スポーツビジネスマネジメント	2前		4				○		1							
運動療法論	3後		4				○							兼1		
健康産業施設等現場実習	4前・後		2				○	1								
スポーツ実技専門科目	スポーツ科学実習：陸上競技	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：サッカー初級	1後		1				○	2		1					
	スポーツ科学実習：サッカー中級	1後		1				○	2							
	スポーツ科学実習：ダンス	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：器械体操	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：バスケットボール	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：バレーボール	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：ソフトボール	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：ゴルフ初級	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：柔道初級	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：水泳	1後		1				○							兼2	
	スポーツ科学実習：野球初級	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：テニス初級	2前		1				○	1							
	夏期野外実習	2前		1				○							兼1	
冬期野外実習	2後		1				○							兼1		
小計（73科目）		—	0	197	0		—	7	4	3	0	0		兼59	—	
合計（159科目）			—	8	416	0	—	7	4	3	0	0		兼94		
学位又は称号		学士（人間スポーツ学）			学位又は学科の分野			体育関係、社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
TIUコア科目8単位必修、教養コア科目および言語スキル科目から20単位、学科間共通専門科目および人間スポーツ学科学科別専門科目から36単位、その他科目区分を問わず60単位を履修し、124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：40単位（年間））							1学年の学期区分			2学期						
							1学期の授業期間			14週						
							1時限の授業時間			100分						

人間社会学部 人間スポーツ学科 第1キャンパス

別記様式第2号(その2の1)

第1キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要														
(人間社会学部人間スポーツ学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
TIUコア科目	大学生活デザイン演習	1前	2					○						兼1
	ICT基礎	1前	2				○							兼1
	小計(2科目)	—	4	0	0		—		0	0	0	0	0	兼1
人間スポーツ学科別専門科目	教職系													
	スポーツ実技専門													
	身体づくり運動	1後		2										兼1
	スポーツ科学実習：器械体操	1後		1										兼1
	小計(2科目)	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	兼1
合計(4科目)		—	4	3	0		—		0	0	0	0	0	兼2
学位又は称号		学士(人間スポーツ学)			学位又は学科の分野			体育関係, 社会学・社会福祉学関係						
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
TIUコア科目8単位必修, 教養コア科目および言語スキル科目から20単位, 学科間共通専門科目および人間スポーツ学学科別専門科目から36単位, その他科目区分を問わず60単位を履修し, 124単位以上修得すること。 (履修登録の上限: 40単位(年間))							1学年の学期区分			2学期				
							1学期の授業期間			14週				
							1時限の授業時間			100分				

人間社会学部 人間スポーツ学科 第2キャンパス

別記様式第2号(その2の1)

第2キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育課程等の概要																		
(人間社会学部人間スポーツ学科)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
T I U コア 科目	初年次演習	1前・後	2+2					○			3	2	2		兼10			
	小計(1科目)	—	4	0	0			—			3	2	2	0	0	兼10	—	
教養コア科目	人間と文化	哲学	1後	4				○								兼3		
	倫理学	1前・後		4				○								兼3		
	芸術論	1前・後		4				○								兼2		
	文学	1前・後		4				○								兼2		
	ことば学入門	1前・後		4				○								兼2		
	アジア・アラブ史	1前		4				○								兼1		
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前		4				○								兼1		
	日本史	1前・後		4				○								兼2		
	地理学概論	1後		4				○								兼1		
	人文地理学	1後		4				○								兼1		
	日本の文化	1前・後		4				○								兼1		
	異文化概論	1前・後		4				○								兼2		
	文化人類学	1前・後		4				○								兼1		
	Introduction to American Society	1後		4				○								兼2		
	Life & Tradition in America	休		4				○										
	現代社会	法学	1前・後		4				○								兼2	
	憲法	1前・後		4					○								兼1	
	政治学	1前・後		4					○								兼3	
	経済学	1前・後		4					○								兼4	
	社会学	1前・後		4					○								兼2	
現代の社会	1前・後		4					○								兼1		
心理学概論	1前・後		4					○								兼4		
自然科学と環境	自然科学概論	1後		4				○								兼1		
環境と自然	1前・後		4					○								兼3		
科学思想史	1後		4					○								兼1		
統計学入門	1前・後		4					○								兼4		
情報処理の基礎	1前・後		4					○								兼2		
健康とスポーツ	健康・スポーツ科学	1前・後		4				○			1					兼2		
健康・スポーツ実技	1前・後		1							○	1					兼7		
小計(29科目)	—	—	0	113	0			—			0	1	0	0	0	兼47	—	
言語スキル科目	英語	Oral Communication	1前・後					○								兼7		
	Reading & Writing	1前・後		2				○								兼4		
	English Workshop	1前・後		2				○								兼1		
	Media English	1前		2				○								兼1		
	Communication Basic I	1前		2				○								兼2		
	Communication Basic II	1後		2				○								兼2		
	English Comprehension I	1前		2				○								兼2		
	English Comprehension II	1後		2				○								兼2		
	Basic Speaking I	1前		1				○								兼2		
	Basic Speaking II	1後		1				○								兼2		
	Basic Writing I	1前		1				○								兼2		
	Basic Writing II	1後		1				○								兼2		
	Intermediate Speaking and Listening A	2前		2				○								兼2		
	Intermediate Speaking and Listening B	2後		2				○								兼2		
Intermediate Reading and Writing A	2前		2				○								兼2			
Intermediate Reading and Writing B	2後		2				○								兼2			

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○									兼1			
		実践ドイツ語	1後		2		○										兼1		
		フランス語入門	1前		2		○										兼1		
		実践フランス語	1後		2		○										兼1		
		スペイン語入門	1前		2		○										兼1		
		実践スペイン語	1後		2		○										兼1		
		中国語入門	1前・後		2		○										兼3		
		実践中国語	1後		2		○										兼2		
		ハングル入門	1前・後		2		○										兼1		
		実践ハングル	1後		2		○										兼1		
		ロシア語入門	1前		2		○										兼1		
		アラビア語入門	1前		2		○										兼1		
		日本語	留学生	アカデミック日本語	1前		2		○									兼1	
日本語ワークショップ	1後				2		○									兼1			
ビジネス日本語	2前				2		○									兼1			
		小計 (31科目)	—	0	58	0	—			0	0	0	0	0	0	兼13	—		
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○									兼1			
		インターンシップ	2前		1				○							兼1			
		グローバルインターンシップ	2後		4				○							兼1			
		ボランティア活動	1前		1				○							兼1			
		アカデミック・ライティング	1前		2		○									兼1			
		キャリア・Re-スタート	1後		2		○									兼1			
	地域の安全と警察	2後		2		○									兼1				
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2				○								兼3		
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2				○								兼1		
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2				○								兼1		
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2				○								兼1		
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1				○								兼1		
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1				○								兼1		
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1				○								兼1		
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1				○								兼1		
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○	○							兼1		
		海外ゼミナールB	1前・後		2				○								兼1		
		特別授業A	2前・後		2			○									兼1		
		特別授業B	2前・後		4			○									兼1		
		スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2					○		2	2	1			兼8		
		スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2					○		2	2	1			兼8		
	基礎科目特殊講義A	1前・後		2			○									兼1			
	基礎科目特殊講義B	1前・後		4			○									兼1			
		小計 (23科目)	—	0	48	0	—			2	2	1	0	0	0	兼25	—		
学科間共通専門科目	卒業・卒業研究	基礎演習	2前・後		2			○			2	3				兼6			
		専門演習	3通		4			○			4	4	3			兼7			
		卒業研究	4後		4			○			2	2	1			兼6			
	教育	教育原理	2前・後		4			○					1				兼1		
		教育相談	2前・後		2			○									兼1		
		福祉	社会福祉概論	1後		4			○									兼1	
			児童福祉論	1後		4			○									兼1	
	福祉教育論		1前		4			○									兼1		
	医療社会論		1後		4			○									兼1		
	心理	教育心理学	1後		4			○									兼2		
		発達心理学	1後		4			○									兼1		
		対人関係論	2前		4			○									兼1		
		社会心理学	2前		4			○									兼1		
	スポーツ	スポーツ社会学	1後		4			○									兼2		
		スポーツ心理学	1後		4			○					1				兼1		
		スポーツ・アドミニストレーション入門	2前		2			○					1						
		スポーツ・アドミニストレーション	3前		2			○			1								
スポーツ産業論		2後		2			○									兼1			
スポーツウェルネス		3前		4			○			1									
コミュニケーションスポーツ論	3前		4			○									兼2	オムニパス			
リキヤ	人間社会学部特殊講義A	3前		2			○									兼1			
	人間社会学部特殊講義B	3後		4			○									兼1			

人間社会学部 人間スポーツ学科 坂戸キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

坂戸キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教 育 課 程 等 の 概 要

(人間社会学部人間スポーツ学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学人 科別 専門 科目 学科	スポーツ科学実習：陸上競技	1後		1				○							兼1	
	スポーツ科学実習：サッカー初級	1後		1				○	2		1					
	スポーツ科学実習：サッカー中級	1後		1				○	2							
	小計（3科目）	—	0	3	0	—	—	—	2	0	1	0	0	兼1	—	
合計（3科目）		—	0	3	0	—	—	—	2	0	1	0	0	兼1	—	
学位又は称号		学士（人間スポーツ学）			学位又は学科の分野			体育関係，社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
TIUコア科目8単位必修，教養コア科目および言語スキル科目から20単位，学科間共通専門科目および人間スポーツ学科学科別専門科目から36単位，その他科目区分を問わず60単位を履修し，124単位以上修得すること。 (履修登録の上限：40単位（年間）)								1学年の学期区分			2学期					
								1学期の授業期間			14週					
								1時限の授業時間			100分					

資料2. 教育課程等の概要（人間社会学部 スポーツ科学科）

人間社会学部 スポーツ科学科 全体

別記様式第2号（その2の1）

全体

（用紙 日本工業規格A4縦型）

教育課程等の概要															
(人間社会学部スポーツ科学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
T I U コ ア	大学生活デザイン演習	1前	2					○						兼1	
	初年次演習	1前・後	2+2					○						兼7	
	ICT基礎	1前	2				○							兼1	
	小計（3科目）	—	8	0	0			—		4	1	5	0	0	兼8
教 養 コ ア 科 目	人間と文化	1後		4				○							兼3
	倫理学	1前・後		4				○							兼3
	芸術論	1前・後		4				○							兼2
	文学	1前・後		4				○							兼2
	ことば学入門	1前・後		4				○							兼2
	アジア・アラブ史	1前		4				○							兼1
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前		4				○							兼1
	日本史	1前・後		4				○							兼2
	地理学概論	1後		4				○							兼1
	人文地理学	1後		4				○							兼1
	日本の文化	1前・後		4				○							兼1
	異文化概論	1前・後		4				○							兼2
	文化人類学	1前・後		4				○							兼1
	Introduction to American Society Life & Tradition in America	1後 休		4 4				○ ○							兼2
	現 代 社 会	法学	1前・後		4				○						
憲法		1前・後		4				○							兼1
政治学		1前・後		4				○							兼3
経済学		1前・後		4				○							兼4
社会学		1前・後		4				○		1					兼1
現代の社会		1前・後		4				○							兼1
心理学概論		1前・後		4				○							兼4
自 然 科 学 と 環 境	自然科学概論	1後		4				○		1					
	環境と自然	1前・後		4				○		1					兼2
	科学思想史	1後		4				○		1					
	統計学入門	1前・後		4				○		1					兼3
	情報処理の基礎	1前・後		4				○							兼2
ホ ル ド ン コ ア	健康・スポーツ科学	1前・後		4				○							兼3
	健康・スポーツ実技	1前・後		1						1	1	2			兼4
	小計（29科目）	—	0	113	0			—		3	1	2	0	0	兼42
言 語 ス キ ル 科 目	英語	1前・後		2				○							兼7
	Reading & Writing	1前・後		2				○							兼4
	English Workshop	1前・後		2				○							兼1
	Media English	1前		2				○							兼1
	Communication Basic I	1前		2				○							兼2
	Communication Basic II	1後		2				○							兼2
	English Comprehension I	1前		2				○							兼2
	English Comprehension II	1後		2				○							兼2
	Basic Speaking I	1前		1				○							兼2
	Basic Speaking II	1後		1				○							兼2
	Basic Writing I	1前		1				○							兼2
	Basic Writing II	1後		1				○							兼2
	Intermediate Speaking and Listening A	2前		2				○							兼2
	Intermediate Speaking and Listening B	2後		2				○							兼2
Intermediate Reading and Writing A	2前		2				○							兼2	
Intermediate Reading and Writing B	2後		2				○							兼2	

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○									兼1			
		実践ドイツ語	1後		2		○										兼1		
		フランス語入門	1前		2		○										兼1		
		実践フランス語	1後		2		○										兼1		
		スペイン語入門	1前		2		○										兼1		
		実践スペイン語	1後		2		○										兼1		
		中国語入門	1前・後		2		○										兼3		
		実践中国語	1後		2		○										兼2		
		ハングル入門	1前・後		2		○										兼1		
		実践ハングル	1後		2		○										兼1		
		ロシア語入門	1前		2		○										兼1		
		アラビア語入門	1前		2		○										兼1		
		日本語	留学生	アカデミック日本語	1前		2		○									兼1	
日本語ワークショップ	1後				2		○									兼1			
ビジネス日本語	2前				2		○									兼1			
		小計 (31科目)	—	0	58	0	—			0	0	0	0	0	0	兼13	—		
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○									兼1			
		インターンシップ	2前		1				○								兼1		
		グローバルインターンシップ	2後		4					○							兼1		
		ボランティア活動	1前		1					○							兼1		
		アカデミック・ライティング	1前		2		○										兼1		
		キャリア・Re-スタート	1後		2		○										兼1		
	地域の安全と警察	2後		2		○										兼1			
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2					○							兼3		
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2					○							兼1		
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2					○							兼1		
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2					○							兼1		
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1					○							兼1		
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1					○							兼1		
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1					○							兼1		
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1												兼1		
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○	○							兼1		
		海外ゼミナールB	1前・後		2					○							兼1		
		特別授業A	2前・後		2			○									兼1		
		特別授業B	2前・後		4			○									兼1		
		スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2						○	2	1	2			兼8		
		スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2						○	2	1	2			兼8		
	基礎科目特殊講義A	1前・後		2			○									兼1			
	基礎科目特殊講義B	1前・後		4			○									兼1			
		小計 (23科目)	—	0	48	0	—			2	1	2	0	0	兼25	—			
学科間共通専門科目	卒業・卒業研究	基礎演習	2前・後		2				○		2	1	3			兼5			
		専門演習	3通		4				○		4	1	2			兼11			
		卒業研究	4後		4				○		3	1	2			兼5			
	教育	教育原理	2前・後		4			○									兼2		
		教育相談	2前・後		2			○									兼1		
		福祉	社会福祉概論	1後		4			○									兼1	
			児童福祉論	1後		4			○									兼1	
	福祉教育論		1前		4			○									兼1		
	医療社会論		1後		4			○									兼1		
	心理	教育心理学	1後		4			○									兼2		
		発達心理学	1後		4			○									兼1		
		対人関係論	2前		4			○									兼1		
		社会心理学	2前		4			○									兼1		
	スポーツ	スポーツ社会学	1後		4			○			1			1					
		スポーツ心理学	1後		4			○			1								
		スポーツ・アドミニストレーション入門	2前		2			○									兼1		
		スポーツ・アドミニストレーション	3前		2			○									兼1		
スポーツ産業論		2後		2			○						1						
スポーツウェルネス		3前		4			○									兼1			
コミュニティスポーツ論	3前		4			○					1	1				オムニバス			
リキヤ	人間社会学部特殊講義A	3前		2			○			1									
	人間社会学部特殊講義B	3後		4			○			1									

スポーツ科学 科学科別専門科目	教職系	身体づくり運動	1後		2				○			1			兼1	
	スポーツ 理論専門科目	スポーツ哲学	1後		2				○							兼1
		体育史	1後		2				○			1				
		スポーツ技術・戦術論	1後		2				○							兼1
		健康運動実習Ⅰ	2前		1					○			1			兼1
		応用スポーツ医学Ⅰ	2前		2				○							兼1
		応用スポーツ医学Ⅱ	2前		2				○							兼1
		エアロビクスⅠ	1後		4								1			兼1
		運動トレーニング基礎理論	1後		4					○						兼1
		解剖生理学	1後		4					○						兼1
		メンタルトレーニング論	2前		2					○		1				
		メンタルトレーニング演習	3前		2					○		1				
		スポーツトレーニング論	2後		4					○						兼1
		コンディショニング演習	2後		2					○			1			兼1
		衛生・公衆衛生学	2後		4					○		1				
		健康管理概論	4前		4					○		1				
		スポーツ政策	2後		2					○						兼1
		健康運動実習Ⅱ	2後		1						○			1		
		応用スポーツ医学Ⅲ	2後		2					○	○					兼1
		エアロビクスⅡ	2後		2						○					兼1
		実践スポーツ英語	2後		4					○						兼1
		学校安全保健	2後		4					○						兼1
		スポーツ法学	2後		2					○						兼1
		健康教育栄養学	3前		4					○		1				
		健康心理学	2後		2					○		1				
		スポーツジャーナリズム	2前		2					○						兼1
		スポーツ経営学	2後		2					○						兼1
		スポーツ外傷・障害	2後		4					○						兼1
		アスレティックリハビリテーション論	3前		2					○						兼1
		アスレティックリハビリテーション演習	2後		2						○					兼1
		スポーツ生理学実習	2後		2						○					兼1
		サッカーコーチング演習Ⅰ	2後		2					○						兼1
		サッカーコーチング演習Ⅱ	2後		2					○						兼1
ゴルフコーチング演習Ⅰ		2後		2					○		1					
ゴルフコーチング演習Ⅱ	2後		2					○		1						
スポーツコーチング論	2後		4					○			1					
健康産業施設等現場実習	4前・後		2						○					兼1		
スポーツ 実技専門科目	スポーツ科学実習：陸上競技	1後		1					○						兼1	
	スポーツ科学実習：サッカー初級	1後		1					○					兼3		
	スポーツ科学実習：サッカー中級	1後		1					○					兼2		
	スポーツ科学実習：ダンス	1後		1					○			1				
	スポーツ科学実習：器械体操	1後		1					○			1				
	スポーツ科学実習：バスケットボール	1後		1					○					兼1		
	スポーツ科学実習：バレーボール	1後		1					○					兼1		
	スポーツ科学実習：ソフトボール	1後		1					○					兼1		
	スポーツ科学実習：ゴルフ初級	1後		1					○		1					
	スポーツ科学実習：柔道初級	1後		1					○					兼1		
	スポーツ科学実習：水泳	1後		1					○			1		兼1		
	スポーツ科学実習：野球初級	1後		1					○				1			
	スポーツ科学実習：テニス初級	2前		1					○					兼1		
スポーツ科学実習：ゴルフ上級	2後		1					○		1						
スポーツ科学実習：柔道上級	2後		1					○					兼1			
スポーツ科学実習：野球上級	2後		1					○				1				
スポーツ科学実習：テニス上級	2後		1					○					兼1			
小計（76科目）		—	0	187	0			—		6	1	6	0	0	兼62	—
合計（162科目）			—	8	406	0		—		6	1	6	0	0	兼94	
学位又は称号		学士（スポーツ科学）			学位又は学科の分野				体育関係、社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
TIUコア科目8単位必修、教養コア科目および言語スキル科目から20単位、学科間共通専門科目およびスポーツ科学科学科別専門科目から36単位、その他科目区分を問わず60単位を履修し、124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：40単位（年間））								1学年の学期区分				2学期				
								1学期の授業期間				14週				
								1時限の授業時間				100分				

人間社会学部 スポーツ科学科 第1キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

第1キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教 育 課 程 等 の 概 要

(人間社会学部スポーツ科学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
TIU コア	大学生活デザイン演習	1前	2				○							兼1	
	ICT基礎	1前	2			○								兼1	
	小計（2科目）	—	4	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼1	—
別 ス ポ ー ツ 科 学 科 目 表	教 職 系 ス ポ ー ツ 科 学 科 目	身体づくり運動	1後		2			○			1				
		技 術 系 ス ポ ー ツ 科 学 科 目	スポーツ科学実習：器械体操	1後		1			○			1			
	小計（2科目）	—	0	3	0	—	—	—	0	0	1	0	0		—
合計（4科目）		—	4	3	0	—	—	—	0	0	1	0	0	兼1	
学位又は称号		学士（スポーツ科学）			学位又は学科の分野			体育関係，社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
TIUコア科目8単位必修，教養コア科目および言語スキル科目から20単位，学科間共通専門科目およびスポーツ科学科学科別専門科目から36単位，その他科目区分を問わず60単位を履修し，124単位以上修得すること。 (履修登録の上限：40単位（年間）)							1学年の学期区分			2学期					
							1学期の授業期間			14週					
							1時限の授業時間			100分					

人間社会学部 スポーツ科学科 第2キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

第2キャンパス

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教 育 課 程 等 の 概 要																
(人間社会学部スポーツ科学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
T I U コア 科目	初年次演習	1前・後	2+2					○		4	1	5		兼7		
	小計（1科目）	—	4	0	0	—				4	1	5	0	0	兼7	—
教養コア科目	人間と文化	哲学	1後	4				○							兼3	
	倫理学	1前・後		4											兼3	
	芸術論	1前・後		4				○							兼2	
	文学	1前・後		4				○							兼2	
	ことば学入門	1前・後		4				○							兼2	
	アジア・アラブ史	1前		4				○							兼1	
	アメリカ・ヨーロッパ史	1前		4				○							兼1	
	日本史	1前・後		4				○							兼2	
	地理学概論	1後		4				○							兼1	
	人文地理学	1後		4				○							兼1	
	日本の文化	1前・後		4				○							兼1	
	異文化概論	1前・後		4				○							兼2	
	文化人類学	1前・後		4				○							兼1	
	Introduction to American Society	1後		4				○							兼2	
	Life & Tradition in America	休		4				○								
	現代社会	法学	1前・後		4				○							兼2
	憲法	1前・後		4					○							兼1
	政治学	1前・後		4					○							兼3
	経済学	1前・後		4					○							兼4
	社会学	1前・後		4					○	1						兼1
	現代の社会	1前・後		4					○							兼1
	心理学概論	1前・後		4					○							兼4
	自然科学と環境	自然科学概論	1後		4				○	1						
	環境と自然	1前・後		4					○	1						兼2
	科学思想史	1後		4					○	1						
	統計学入門	1前・後		4					○	1						兼3
	情報処理の基礎	1前・後		4					○							兼2
	健康とスポーツ	健康・スポーツ科学	1前・後		4				○							兼3
	健康・スポーツ実技	1前・後		1						1	1	2				兼4
小計（29科目）	—	—	0	113	0	—			3	1	2	0	0	兼42	—	
言語スキル科目	英語	Oral Communication	1前・後		2			○							兼7	
	Reading & Writing	1前・後		2				○							兼4	
	English Workshop	1前・後		2				○							兼1	
	Media English	1前		2				○							兼1	
	Communication Basic I	1前		2				○							兼2	
	Communication Basic II	1後		2				○							兼2	
	English Comprehension I	1前		2				○							兼2	
	English Comprehension II	1後		2				○							兼2	
	Basic Speaking I	1前		1				○							兼2	
	Basic Speaking II	1後		1				○							兼2	
	Basic Writing I	1前		1				○							兼2	
	Basic Writing II	1後		1				○							兼2	
	Intermediate Speaking and Listening A	2前		2				○							兼2	
	Intermediate Speaking and Listening B	2後		2				○							兼2	
	Intermediate Reading and Writing A	2前		2				○							兼2	
Intermediate Reading and Writing B	2後		2				○							兼2		

言語スキル科目	その他の外国語	ドイツ語入門	1前		2		○									兼1			
		実践ドイツ語	1後		2		○										兼1		
		フランス語入門	1前		2		○										兼1		
		実践フランス語	1後		2		○										兼1		
		スペイン語入門	1前		2		○										兼1		
		実践スペイン語	1後		2		○										兼1		
		中国語入門	1前・後		2		○										兼3		
		実践中国語	1後		2		○										兼2		
		ハングル入門	1前・後		2		○										兼1		
		実践ハングル	1後		2		○										兼1		
		ロシア語入門	1前		2		○										兼1		
		アラビア語入門	1前		2		○										兼1		
		日本語	留学生	アカデミック日本語	1前		2		○									兼1	
日本語ワークショップ	1後				2		○									兼1			
ビジネス日本語	2前				2		○									兼1			
		小計 (31科目)	—	0	58	0	—			0	0	0	0	0	0	兼13	—		
自由選択科目	キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	1前		2		○									兼1			
		インターンシップ	2前		1				○							兼1			
		グローバルインターンシップ	2後		4				○							兼1			
		ボランティア活動	1前		1				○							兼1			
		アカデミック・ライティング	1前		2		○									兼1			
		キャリア・Re-スタート	1後		2		○									兼1			
		地域の安全と警察	2後		2		○									兼1			
	プロジェクト科目	観光まちおこしワークショップ入門	1前・後		2				○								兼3		
		観光まちおこしワークショップ実践A	1前・後		2				○								兼1		
		観光まちおこしワークショップ実践B	1前・後		2				○								兼1		
		観光まちおこしワークショップ実践C	1前・後		2				○								兼1		
		観光まちおこしプロジェクトA	2前		1				○								兼1		
		観光まちおこしプロジェクトB	2後		1				○								兼1		
		観光まちおこしプロジェクトC	2前・後		1				○								兼1		
		留学プランニング (ASP Prep)	1前・後		1					○							兼1		
		海外ゼミナールA	1前・後		4				○	○							兼1		
		海外ゼミナールB	1前・後		2				○								兼1		
		特別授業A	2前・後		2			○									兼1		
		特別授業B	2前・後		4			○									兼1		
		スポーツパフォーマンス実習 I	1前		2					○		2	1	2			兼8		
		スポーツパフォーマンス実習 II	1後		2					○		2	1	2			兼8		
		基礎科目特殊講義A	1前・後		2			○									兼1		
		基礎科目特殊講義B	1前・後		4			○									兼1		
		小計 (23科目)	—	0	48	0	—			2	1	2	0	0	兼25	—			
学科間共通専門科目	卒業演習・卒業研究	基礎演習	2前・後		2			○			2	1	3			兼3			
		専門演習	3通		4			○			3	2	2			兼6			
		卒業研究	4後		4			○			2	2	2			兼5			
	教育	教育原理	2前・後		4			○									兼2		
		教育相談	2前・後		2			○									兼1		
		福祉	社会福祉概論	1後		4			○									兼1	
			児童福祉論	1後		4			○									兼1	
	福祉教育論		1前		4			○									兼1		
	医療社会論		1後		4			○									兼1		
	心理	教育心理学	1後		4			○									兼2		
		発達心理学	1後		4			○									兼1		
		対人関係論	2前		4			○									兼1		
		社会心理学	2前		4			○									兼1		
	スポーツ	スポーツ社会学	1後		4			○			1			1					
		スポーツ心理学	1後		4			○			1								
		スポーツ・アドミニストレーション入門	2前		2			○									兼1		
		スポーツ・アドミニストレーション	3前		2			○									兼1		
スポーツ産業論		2後		2			○						1						
スポーツウェルネス		3前		4			○									兼1			
コミュニティスポーツ論	3前		4			○					1	1				オムニバス			
リキヤ	人間社会学部特殊講義A	3前		2			○			1									
	人間社会学部特殊講義B	3後		4			○			1									

人間社会学部 スポーツ科学科 坂戸キャンパス

別記様式第2号（その2の1）

坂戸キャンパス

（用紙 日本工業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(人間社会学部スポーツ科学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
科 別 専 門 科 目 ス ポ ー ツ 科 学 科 学	スポーツ科学実習：陸上競技	1後		1				○						兼1
	スポーツ科学実習：サッカー初級	1後		1				○						兼3
	スポーツ科学実習：サッカー中級	1後		1				○						兼2
	小計（3科目）	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	兼4
合計（3科目）		—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	兼4
学位又は称号		学士（スポーツ科学）			学位又は学科の分野			体育関係，社会学・社会福祉学関係						
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
TIUコア科目8単位必修，教養コア科目および言語スキル科目から20単位，学科間共通専門科目およびスポーツ科学科学科別専門科目から36単位，その他科目区分を問わず60単位を履修し，124単位以上修得すること。 （履修登録の上限：40単位（年間））							1学年の学期区分			2学期				
							1学期の授業期間			14週				
							1時限の授業時間			100分				

学生の確保の見通し等を記載した書類

(収容定員変更に係る学則変更)

東京国際大学



目次

1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況.....	3
1.1. 学生の確保の見通し	3
1.1.1. 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方	3
1.1.2. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要.....	3
1.1.2.1. 大学進学者数の推移	3
1.1.2.2. 埼玉県、東京都における志願動向	5
1.1.2.3. 他大学の定員充足状況.....	6
1.1.2.4. 人間スポーツ学科・スポーツ科学科の志願動向	6
1.1.2.5. 定員増後の入学者選抜シミュレーション	10
1.2. 学生確保に向けた具体的な取組状況.....	12
2. 人材需要の動向等社会の要請	14
2.1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	14
2.2. 人材需要の客観的根拠.....	14
2.2.1. 東京国際大学に対する社会からの評価.....	14
2.2.2. 各学科の就職状況	15
2.2.3. スポーツ関連人材への社会的需要.....	15

1. 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況

1.1. 学生の確保の見通し

1.1.1. 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方

今回の収容定員変更では、以下のとおり入学定員・収容定員を定めた(表1)。人間社会学部人間スポーツ学科は入学定員を15名拡大することで、現在の230名から245名へと増員する。人間社会学部スポーツ科学科については入学定員を10名拡大することで、入学定員を現在の200名から210名へと増員する。

表1. 令和5年度 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人間社会学部	人間スポーツ学科	230人	920人	245人	980人	+15人	+60人
	スポーツ科学科	200人	800人	210人	840人	+10人	+40人
合計		430人	1,720人	455人	1,820人	+25人	+100人

増員を行う目的は、スポーツに関わる人材をより多く輩出し、スポーツ立国の実現を目指す日本社会の課題に応じることを第一義としている。具体的な増員数については、過去の本学志願動向からシミュレーションを行った上で、適正な入学者選抜を行える水準を想定し、設定した。本学各学科の堅調な志願動向や他大学の定員充足状況、本学に在籍する学生の多くの出身地域である埼玉県、東京都における今後の大学進学者数の予測からも、設定した入学定員を充足することが可能と考える。

また、入学定員の設定に当たっては、教育課程や教員組織、校地、校舎等の施設、設備その他の教育上の諸条件を勘案したうえで、教育効果を十分発揮できる範囲での定員増加になるよう留意している。教員組織については授業内容や方法、履修指導体制等を考慮のうえ、効果的な教育が実施できる人数による体制を構築している。それぞれの学科においては大学設置基準が定める必要専任教員数を超える専任教員を配置し、入学定員を増加しても十分対応可能な体制とする。

1.1.2. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1.1.2.1. 大学進学者数の推移

今後の中長期的な学生確保見通しを考察するため、まずは大学進学者全体のボリュームの変化を国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」及び文部科学省「大学への進学者数の将来推計につ

いて」のデータをもとに推計した。

本学に在籍する学生（留学生を除く）の出身地域（保護者住所）は埼玉県と東京都の2都県で6割～7割を占める。したがって、大学進学者数の予測にあたっては、当該2都県における大学進学者数推移を見ていく。表2に示すとおり、埼玉県の大学進学適齢人口について、2015年の354,632人を100.0とする場合、2020年には335,397人（94.6）、2030年には303,238人（85.5）と、2030年までに14.5%の減少が見込まれる。一方、東京都については、2015年の572,290人を100.0とする場合、2020年には552,167人（96.5）、2030年には564,674人（98.7）と、埼玉県に比べて人口の減少幅は小さく、1.3%の減少に留まることが推計されている。

表2. 大学進学適齢人口の推移予測

<15～19歳推計人口>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	354,632	335,397	322,194	303,238
	100.0	94.6	90.9	85.5
東京都	572,290	552,167	557,895	564,674
	100.0	96.5	97.5	98.7

国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

次いで、大学進学率の推移予測に関しても表3で見ていく。埼玉県については、2015年の51.1%を100.0とする場合、2020年には53.6%（104.9）、2030年には57.9（113.3）と、2030年までに2015年と比べて13.3%の増加が予測されている。東京都については、現在の大学進学率が既に極めて高いことから、2030年の大学進学率は2015年と同じく72.8%であることが予測されている。

表3. 大学進学率の推移予測

<大学進学率>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	51.1%	53.6%	55.6%	57.9%
	100.0	104.9	108.8	113.3
東京都	72.8%	72.8%	72.8%	72.8%
	100.0	100.0	100.0	100.0

文部科学省「大学への進学者数の将来推計について」

上記で示してきた大学進学適齢人口と大学進学率の数値を掛け合わせ、大学進学者数の推移予測として表したものが表4である。埼玉県については、大学進学適齢人口は減少する一方で、大学進学率は上昇するため、2015年を100.0とする場合、2020年では99.2、2030年では96.9と、3.1%の僅かな減少に留まる。また、東京都についても、大学進学適齢人口の減少が僅かであるため、2015年を100.0とする場合、2020年では96.5、2030年では98.7と推移していくことが予測できる。

表4. 大学進学者数の推移予測

<指数：（15～19歳推計人口）×（大学進学率）>

	2015年	2020年	2025年	2030年
埼玉県	100.0	99.2	98.9	96.9
東京都	100.0	96.5	97.5	98.7

日本社会における少子化の進行によって、大学の学生募集環境は今後も楽観視できる状況ではない。しかし、以上で見てきたとおり、本学へ入学してくる学生の主要な出身地域である埼玉県、東京都では、今後の大学進学者数に極端な落ち込みはないと予測でき、定員を充たしていくことが可能な環境だと考える。

1.1.2.2. 埼玉県、東京都における志願動向

日本私立学校振興・共済事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」に公表されている「地域別の動向（大学・学校別）」において、本学の主たる通学圏である埼玉県及び東京都における平成29年度以降5年間の志願倍率、入学定員充足率を確認した（表5）。

表5. 地域別の志願動向

	年度	入学定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	合格率	歩留	充足率
		①	②	③	④	②/①	③/②	④/③	④/①
埼玉	平成29	16,875	80,739	36,296	17,434	4.8	45.0%	48.0%	1.03
	平成30	17,046	88,025	36,781	17,941	5.2	41.8%	48.8%	1.05
	令和元	17,137	105,056	38,845	18,510	6.1	37.0%	47.7%	1.08
	令和2	17,107	109,902	38,749	18,412	6.4	35.3%	47.5%	1.08
	令和3	17,522	86,273	41,937	17,393	4.9	48.6%	41.5%	0.99
東京	平成29	175,024	1,803,679	481,265	187,859	10.3	26.7%	39.0%	1.07
	平成30	179,549	1,941,659	462,130	186,116	10.8	23.8%	40.3%	1.04
	令和元	180,659	2,001,091	469,256	184,115	11.1	23.5%	39.2%	1.02
	令和2	181,781	1,899,211	504,652	183,897	10.4	26.6%	36.4%	1.01
	令和3	182,291	1,673,435	537,638	183,754	9.2	32.1%	34.2%	1.01

新型コロナウイルスの影響が特に大きかった令和 3 年度については、大学による学生募集活動や受験生の活動が阻害されていたと推察されることから、埼玉県と東京都のいずれも志願者数は減少した。しかし、平成 29 年度から令和 2 年度の 4 年間については、埼玉県は入学定員の拡大を上回るペースで志願者数が増加し、志願倍率は上昇傾向にあった。また、東京都についても志願倍率は 10 倍超で堅調に推移していた。志願動向の推移を総じて見ると、十分に定員を充たしていくことが可能な環境と考える。

1.1.2.3. 他大学の定員充足状況

本学の主たる学生募集エリアである埼玉県及び東京都において、体育・スポーツ系統の学部学科を設置している主な大学の定員充足状況を調査した。令和 3 年度における収容定員充足率は、ほとんどの学部学科で 1 倍を超えており、十分に学生を確保できている状況にある（表 6）。

表 6. 体育・スポーツ系統学部学科の定員充足率（令和 3 年度）

大学	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員 超過率	収容定員	在籍者数	収容定員 充足率
平成国際	スポーツ健康	スポーツ健康	100	97	0.97	400	422	1.06
尚美学園*	スポーツマネジメント	スポーツマネジメント	160	207	1.29	320	453	1.42
駿河台*	スポーツ科学	スポーツ科学	200	245	1.23	400	471	1.18
大東文化	スポーツ・健康	スポーツ科学	125	144	1.15	500	516	1.03
日本体育	体育	体育	750	802	1.07	3000	3145	1.05
	体育	健康	195	170	0.87	780	765	0.98
	スポーツマネジメント	スポーツマネジメント	145	154	1.06	580	601	1.04
	スポーツライフマネジメント	スポーツライフマネジメント	110	116	1.05	440	450	1.02
日本	スポーツ科学	競技スポーツ	300	314	1.05	1200	1250	1.04
国士舘	体育	体育	220	230	1.05	880	1010	1.15

* 令和2年度新設

各大学ホームページから作成

また、尚美学園大学や駿河台大学のように設置されたばかりの学部学科についても多くの学生が入学しており、体育・スポーツを学べる大学（定員）の増加に応じて、確りと学生が集まっていることを確認できる。従って、この学問分野に対する受験生のニーズは高く、本学が増員する定員分についても十分に学生を確保していくことができると考える。

1.1.2.4. 人間スポーツ学科・スポーツ科学科の志願動向

収容定員を変更する人間スポーツ学科及びスポーツ科学科について、平成 29 年度以降の 5 年間における志願動向を整理した（表 7）。

表 7. 各学科の志願動向

<人間社会学部 人間スポーツ学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	230	230	230	230	230
②	志願者数	381	434	465	564	448
③	志願倍率	②/①	1.66	1.89	2.02	1.95

<人間社会学部 スポーツ科学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3
①	入学定員	200	200	200	200	200
②	志願者数	374	363	389	428	362
③	志願倍率	②/①	1.87	1.82	1.95	1.81

いずれの学科も志願者数は安定的に推移している。令和3年度については、各学科とも新型コロナウイルスによる影響から落ち込みはしたが、それ以前の平成29年度から令和2年度にかけては志願者数が増加傾向にあった。人間スポーツ学科で1.48倍（564人／381人）、スポーツ科学科では1.14倍（428人／374人）に志願者が漸増し、学生確保は堅調な状況だったと言える。また、各学科の志願者のうち、両方の学科に志願していた併願者の人数を表8に示す。いずれの年度も、志願者全体から見ると併願者は少数と言える。

表 8. 各学科の併願者数

		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3
志願者 内訳	人間スポーツ学科のみ志願	339	393	424	475	397
	スポーツ科学科のみ志願	332	322	348	339	311
	併願者	42	41	41	89	51

実質倍率（受験者数／合格者数）についても過去5年間の推移を見ると、人間スポーツ学科は1.16～1.58、スポーツ科学科は1.12～1.47となっている（表9）。過去5年間のうち、令和元年度の実質倍率が最も高くなっている要因は、収容定員充足率の調整によるものである。在籍学生数が収容定員に対して過剰になることを防ぐため、両学科とも令和元年度は合格率を切り下げ、入学者を絞り込んでいた。受験者数の増加（志願者数の増加）に加え、合格率の切り下げによって令和元年度の実質倍率が上昇していた。

表 9. 各学科の実質倍率

<人間社会学部 人間スポーツ学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3
①	志願者数	381	434	465	564	448
②	受験者数	376	424	456	545	432
③	合格者数	325	345	289	365	362
④	合格率	③/②	86.4%	81.4%	63.4%	67.0%
⑤	実質倍率	②/③	1.16	1.23	1.58	1.49
⑥	定員充足率	1.10	1.08	0.95	1.03	1.01

<人間社会学部 スポーツ科学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3
①	志願者数	374	363	389	428	362
②	受験者数	369	359	384	416	353
③	合格者数	318	287	262	294	314
④	合格率	③/②	86.2%	79.9%	68.2%	70.7%
⑤	実質倍率	②/③	1.16	1.25	1.47	1.41
⑥	定員充足率	1.12	1.02	0.97	1.03	1.10

今後の学生確保の見通しを考える上で、新型コロナウイルスによる志願動向への影響（令和2年度から令和3年度にかけての志願者の減少要因）の詳細を見ていく。当該2学科における変動を、先に挙げた「私立大学・短期大学等入学志願動向」の「地域別の動向（大学・学校別）」と比較すると、本学2学科の増減率（0.82倍）は埼玉県全体の増減率（0.78倍）と同程度であり、全体的な傾向から逸脱はしていない（表10）。

表 10. 志願者数の増減率比較

		人間スポーツ学科	スポーツ科学科	2学科計	埼玉県の大学計
志願者数	令和2	564	428	992	109902
	令和3	448	362	810	86273
増減率		0.79	0.85	0.82	0.78

新型コロナウイルスの流行は、高校生の受験活動や進路選択意識、大学が実施する学生募集活動に大きな影響を与えた。本学の学生募集活動では特に、埼玉・東京圏外の高校への訪問機会（大学説明会や模擬授業の実施等）が多く失われ、それら地域からの志願者が以前よりも減少した。地域別の本学への志願動向（表11）を見たところ、埼玉・東京と比較して、その他地域からの志願者数の減少幅が大きい。

表 11. 本学志願者数の増減率比較（地域別）

		人間スポーツ学科			スポーツ科学科			2学科計		
		令和2	令和3	増減率	令和2	令和3	増減率	令和2	令和3	増減率
地域別	埼玉・東京	369	307	0.83	236	205	0.87	605	512	0.85
	その他地域	195	141	0.72	192	157	0.82	387	298	0.77
合計		564	448	0.79	428	362	0.85	992	810	0.82

令和3年度は新型コロナウイルスという未知の疫禍から、特に埼玉・東京圏外での学生募集活動をほとんど実施できず、埼玉・東京においても従前どおりの活動を満足に行うことができなかった。その結果が志願者数の減少として表れている。

しかし、今後は埼玉・東京圏外での募集活動量の増加や、オンラインを通じた募集施策の向上等、新型コロナウイルス流行前と比して同等の学生募集活動を実行していく。したがって、令和3年度に落ち込んだ志願者数を回復させ、平成29年度から令和2年度にかけて志願者が増加していた傾向を取り戻すことは可能と考える。

また、ここまで述べてきた志願者数という「量」の観点だけではなく、「質」の観点でも両学科の志願動向について述べる。本学では令和元年度から新入生に対して入学時に調査を行い、高校時代の学習態度や学習経験などを問うている。その結果、学習態度の優れた学生が年々増加していることを人間スポーツ学科とスポーツ科学科では確認できている。表12に示すとおり、高校時代の学校や家での学習の様子を聞いた質問では、学習態度の良い学生が令和元年度から令和3年度にかけて増加していた（詳細な結果は資料1に示す）。

表 12. 高校時代の学習態度

Q. 高校時代の学校や家での学習の様子について教えてください。 以下のそれぞれの項目がどの程度あてはまるか、すべてお答えください。	「とてもあてはまる」と回答した比率		
	令和元 (n=400)	令和2 (n=309)	令和3 (n=294)
授業に真面目に出席した	62.0	59.5	63.6
授業で出された宿題や課題はきちんとやった	42.0	57.6	58.5
進路や将来について積極的に考えた	33.3	46.0	47.3
授業の予習や復習をした	7.0	8.1	15.3
興味をもったことについて自主的に学習した	17.3	24.6	28.9
計画を立てて学習した	7.3	10.7	16.7
グループワークやディスカッションに積極的に参加した	16.5	23.0	26.2

※人間スポーツ学科とスポーツ科学科の入学生を合算して集計

志願者数の着実な増加や入学してくる学生の「質」の向上は、人間スポーツ学科とスポーツ科学科の生み出してきた成果（卒業生の高い就職実績やスポーツ競技における躍進など）が受験生・社会から認められ、評価が高まっているためと推察する。設置から僅か 10 年程の両学科ではあるが、「スポーツの東京国際大学」としての評価を確かなものとしつつある。従って、今後も両学科の志願動向は堅調に推移し、十分に定員を充たしていくことが可能と考える。

1.1.2.5. 定員増後の入学者選抜シミュレーション

各学科の志願・入学動向の実績から、増員後の定員充足率 1.00 に必要な合格者数・合格率のシミュレーションを行った。その結果、定員増加後においても、適正な入学者選抜を行った上で定員を充足していけると見込む。

以下に学科ごとの詳細を述べる。

・人間社会学部 人間スポーツ学科

表 13. 人間スポーツ学科の志願動向

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレ ーション
①	入学定員	230	230	230	230	230	245
②	志願者数	381	434	465	564	448	472
③	受験者数	376	424	456	545	432	456
④	合格者数	325	345	289	365	362	378
⑤	入学者数	252	249	218	238	233	245
⑥	志願倍率 ②/①	1.66	1.89	2.02	2.45	1.95	1.93
⑦	合格率 ④/③	86.4%	81.4%	63.4%	67.0%	83.8%	83.0%
⑧	実質倍率 ③/④	1.16	1.23	1.58	1.49	1.19	1.20
⑨	歩留 ⑤/④	77.5%	72.2%	75.4%	65.2%	64.4%	64.8%
⑩	定員充足率 ⑤/①	1.10	1.08	0.95	1.03	1.01	1.00

人間スポーツ学科は入学定員を 230 人から 245 人へと増員する。

堅実な推計を行うため、表 13 のシミュレーションで想定する志願者数は、各学科の併願を加味した上で過去の実績から設定している。具体的には、令和 2 年度と令和 3 年度の志願者数実績（564 人／448 人）のうち、併願者（89 人／51 人）を各学科に等分。等分された併願者数と人間スポーツ学科のみの志願者の合計を実志願者数と仮定した（表 14）。実志願者数の令和 2 年度（520 人）と令和 3 年度（423 人）の中央値（472 人）をシミュレーション上の志願者数とした。中央値を採用する理由は、定員を増加する令和 5 年度には、新型コロナウイルス

スによる志願動向の落ち込みは一定の復調を見込んでいるためである。

表 14. 実志願者数の算出

志願者数		志願者数内訳			実志願者数*		
令和2	令和3		令和2	令和3	令和2	令和3	
564	448	▶	人間スポーツ学科のみ志願 併願者	475 89	397 51	▶	520 423

*人間スポーツ学科には45名（令和2）と26名（令和3）を算入

また、シミュレーションにおける受験者数は、令和2年度と令和3年度の受験率実績の中央値（96.5%）を志願者数に乗じて算出している。合格者のうちの入学者の比率を示す歩留についても、志願者数と同様に令和2年度及び令和3年度実績の中央値（64.8%）を使用している。

シミュレーションの結果、増員後の入学定員充足率1.00確保に必要な合格者数は378人、合格率83.0%となる（表13）。この合格率は、過去5年間の合格率（63.4%～86.4%）を鑑みても問題が生じる水準とは言えない。よって、適正な入学者選抜を行った上で、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

・人間社会学部 スポーツ科学科

表 15. スポーツ科学科の志願動向

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレ ーション	
①	入学定員	200	200	200	200	200	210	
②	志願者数	374	363	389	428	362	360	
③	受験者数	369	359	384	416	353	350	
④	合格者数	318	287	262	294	314	300	
⑤	入学者数	224	204	193	206	219	210	
⑥	志願倍率	②/①	1.87	1.82	1.95	2.14	1.81	1.71
⑦	合格率	④/③	86.2%	79.9%	68.2%	70.7%	89.0%	85.7%
⑧	実質倍率	③/④	1.16	1.25	1.47	1.41	1.12	1.17
⑨	歩留	⑤/④	70.4%	71.1%	73.7%	70.1%	69.7%	69.9%
⑩	定員充足率	⑤/①	1.12	1.02	0.97	1.03	1.10	1.00

スポーツ科学科は入学定員を200人から210人へと増員する。

堅実な推計を行うため、表15のシミュレーションで想定する志願者数は、各学科の併願を加味した上で過去の実績から設定している。具体的には、令和2年

度と令和3年度の志願者数実績（428人／362人）のうち、併願者（89人／51人）を各学科に等分。等分された併願者数とスポーツ科学科のみの志願者の合計を実志願者数と仮定した（表16）。実志願者数の令和2年度（383人）と令和3年度（336人）の中央値（360人）をシミュレーション上の志願者数とした。中央値を採用する理由は、定員を増加する令和5年度には、新型コロナウイルスによる志願動向の落ち込みは一定の復調を見込んでいるためである。

表16. 実志願者数の算出

志願者数		志願者数内訳			実志願者数*			
令和2	令和3		令和2	令和3	令和2	令和3		
428	362	▶	スポーツ科学科のみ志願	339	311	▶	383	336
			併願者	89	51			

*スポーツ科学科には44名（令和2）と25名（令和3）を算入

また、シミュレーションにおける受験者数は、令和2年度と令和3年度の受験率実績の中央値（97.4%）を志願者数に乗じて算出している。合格者のうちの入学者の比率を示す歩留についても、志願者数と同様に令和2年度及び令和3年度実績の中央値（69.9%）を使用している。

シミュレーションの結果、増員後の入学定員充足率1.00確保に必要な合格者数は300人、合格率85.7%となる（表15）。この合格率は、過去5年間の合格率（68.2%～89.0%）を鑑みても問題が生じる水準とは言えない。よって、適正な入学者選抜を行った上で、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

1.2. 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた募集活動については、本学の特徴や学科の特色が高校生及び保護者、高校教員等に伝わるよう様々な機会を設けることとする。令和3年度の本学の新生を対象に行った調査によると、東京国際大学を進学先として選択する際、影響を受けたものとして「オープンキャンパス」や「高校の先生との面談や話」等が上位に挙がっている。受験生が進学先を決める上で、これらの情報経路が重要なものであると考え、受験生と直接的に接する機会であるオープンキャンパス及び高校教員への情報提供を特に力を入れて遂行する。オンラインでのオープンキャンパスや入試相談等、WEB上でのコミュニケーションも活用し、十分な情報を受験生や保護者、高校教員に届けていく。

以下に本学が実施していく具体的な取組を述べる。

- ・オープンキャンパス

受験生向けに大学の学びを理解してもらう機会としてオープンキャンパスを開催している。具体的内容として、本学の特色や人材育成の狙いの紹介、模擬授業、在学生のプレゼンテーション、キャンパス案内等を実施した。令和3年度については、実際に大学へ来場するオープンキャンパスに3,585名（開催回数5回）、オンラインで実施するオープンキャンパスに515名の参加があった。

- ・高校等訪問

本学が重点対象とする高校に対し職員を派遣、進路指導部長及び部員に本学の教育システム、方針について説明を実施し、生徒が本学への興味、関心を持ってもらえるように周知を依頼している。令和3年度については延べ798校を訪問した。

- ・高校個別模擬授業

本学が重点対象とする高校に対しては、教員を派遣して出張講義を行い、高校生が具体的な学びのイメージを掴む手助けをしている。令和3年度は4校で実施した。

- ・高校教員対象大学説明会

高校の進路指導教員向けに「高校教員対象大学説明会」を開催し、教育内容や入試制度の前年からの変更点などを伝え、進路指導の参考にしてもらっている。令和3年度は47校の参加があった。

- ・進学相談会

学外で開催される各種進学ガイダンス・説明会へ積極的に参加している。本学への入学者が多くない首都圏以外のエリアのガイダンス・説明会にも参加している。令和3年度は22会場のガイダンス・説明会に参加した。

高校内で開催されるガイダンス・説明会についても学生募集の重点校については積極的に参加している。令和3年度はオンラインでの実施も含め、149校のガイダンス・説明会に参加した。

2. 人材需要の動向等社会の要請

2.1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

人間社会学部人間スポーツ学科及び人間社会学部スポーツ科学科の人材養成・教育研究上の目的は、学則において以下のとおり定めている。

人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探究し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成する。

人間スポーツ学科は、スポーツの知識及び技能を修得し、社会貢献に欠かせない行動力や指導力を心身の両面から備えた人材を育成する。

スポーツ科学科は、人間諸科学の総合的な視点から、幅広く深い国際的な教養と豊かな人間性を兼ね備えたスポーツ競技者及びその指導者を目指す人材を養成する。

2.2. 人材需要の客観的根拠

2.2.1. 東京国際大学に対する社会からの評価

東京国際大学は、「公德心を体した真の国際人の養成」を建学の精神に掲げ、建学時からの教育目標である「Vision, Courage, Intelligence を身に付けた人材づくり」を具現化するために、「スポーツの東京国際大学」「英語力の東京国際大学」を柱とした教育事業展開を強力に推進している。

これらの取組が評価され、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「THE 世界大学ランキング 日本版」における「国際性」分野で、2021（令和 3）年度全国第 13 位、首都圏第 4 位と高い評価を得ている。

また、日経 HR「価値ある大学 2020 年版 就職力ランキング」では、本学の卒業生に対するイメージとして、「対人力（コミュニケーション能力が高い、ストレス耐性が高い、柔軟性・適応力がある）」は第 14 位、「独創性（創造力がある、個性がある、着眼点が良い）」は第 14 位に位置している。

このように、本学における様々な取組や育成している人材については、社会から高い評価を得ている。取組の例を挙げると、本学ではキャリア教育の一環として、日本人学生を対象に「大学生活デザイン演習」を初年次の必修科目として設定している。初年次教育は多くの大学が導入しているものではあるが、本学の特徴はキャリア教育に主眼を置き、実施している点である。例えば、グループワークやプレゼンテーション等、実践的なアクティブラーニング形式の学びを通じて、集団の中での主体性やコミュニケーション能力等のいわゆる社会人基礎力

を修得することが目的の一つである。また、本科目の中では、学生が社会人の方にインタビューする機会を設けており、自分自身のキャリアを考え、それに向けた4年間の大学生活をデザインする契機としている。

以上のように、本学では卒業生が社会に出た際、しっかりとその中で活躍し、自分自身のキャリアを築いていく力を持てるよう、人材の養成を行っている。人材養成に関する様々な取組が、前述した社会からの高い評価に繋がっていると考える。

2.2.2. 各学科の就職状況

本学の進路・就職状況については高い実績を挙げており、各学科の教育研究上の目的において示す「養成する人材像」が、それぞれの学問分野の専門性を基礎としつつも、現代社会が共通して求める能力の養成にも資するものであることを示している。

具体的な就職実績を以下に示す(表17)。両学科において、過去3年間ににおける卒業生の就職率はいずれも100%を維持しており、社会から求められる人材を確実に養成できている。

表 17. 各学科の就職実績

	平成30年度卒			令和元(平成31)年度卒			令和2年度卒		
	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率
人間社会学部 人間スポーツ学科	174	174	100.0	205	205	100.0	199	199	100.0
人間社会学部 スポーツ科学科	140	140	100.0	166	166	100.0	155	155	100.0

厚生労働省が調査を行っている大学等卒業者の就職状況を見ると、全国大学生の平均就職率については、平成30年度卒(平成31年3月卒)は97.6%、令和元年度卒(令和2年3月卒)は98.0%、令和2年度卒(令和3年3月卒)は96.0%となっている(資料2)。このように、全国の大学生と比較しても、人間スポーツ学科及びスポーツ科学科の就職率は高い水準で推移している。

また、本学を卒業した後も、企業や官公庁等でスポーツ競技を継続している卒業生は令和2年度卒では13名おり、野球、サッカー、駅伝、ウェイトリフティング、ソフトボールといった競技にアスリートとして取り組んでいる。

2.2.3. スポーツ関連人材への社会的需要

我が国においては、国・地方公共団体・スポーツ団体等が一体となり、「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活」を営むことができるスポーツ

立国を実現していくことが、政策方針として示されている。スポーツを社会に浸透させていくことを目指し、2017年には第2期スポーツ基本計画が策定された。この計画の中では、スポーツ参画人口拡大のための人材育成など、「一億総スポーツ社会」を実現していくための種々の施策が提起され、実行に移されている。

2021年度中には後継の第3期スポーツ基本計画が策定される予定であり、併せて第2期の計画で定められた政策目標の進捗も確認がなされている。その結果を示した「第2期スポーツ計画『今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策』における政策目標ごとの進捗状況と課題」によると、スポーツ立国の実現に向けて、現状では達成できていない目標が多く存在する。

例えば、スポーツ参画人口拡大のための人材育成については、「指導者の育成に関する施策等に取り組んできたが、公認スポーツ指導者資格の普及については更なる取組が必要。(中略)必要な知識、技能を有する資格保持のスポーツ指導者の質と量の確保を引き続き推進していく。」と述べられている。このように、スポーツ指導者をはじめ、スポーツ社会を実現していく上で必要とされる人材は未だ不足しているのが現状と言える。

人間スポーツ学科・スポーツ科学科は競技スポーツから生涯スポーツまでの多様な分野に応じ、その発展を推進していくことが可能な人材を養成している。両学科が養成するスポーツに関わる人材に対しては、今後の社会においても需要は高いと考える。

添付資料

(学生の確保の見通し等を記載した書類)

東京国際大学



目次

資料 1.	「東京国際大学 新入生調査」結果抜粋.....	3
資料 2.	全国大学生の就職（内定）率の推移.....	4

資料1. 「東京国際大学 新入生調査」結果抜粋

Q. 高校時代の学校や家での学習の様子について教えてください。

以下のそれぞれの項目がどの程度あてはまるか、すべてお答えください。

<令和元年度の調査結果>

n=400	とてもあてはまる	まああてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答
授業に真面目に出席した	62.0	27.5	8.3	1.3	0.5	0.5
授業で出された宿題や課題はきちんとやった	42.0	38.3	13.0	4.8	1.3	0.8
進路や将来について積極的に考えた	33.3	38.5	21.3	4.8	1.0	1.3
授業の予習や復習をした	7.0	16.0	33.0	26.0	17.5	0.5
興味をもったことについて自主的に学習した	17.3	27.3	34.5	13.5	7.3	0.3
計画を立てて学習した	7.3	15.3	38.8	24.8	13.3	0.8
グループワークやディスカッションに積極的に参加した	16.5	30.8	33.0	14.5	4.8	0.5

※令和元年度のみ、5スケールの回答選択肢で聴取

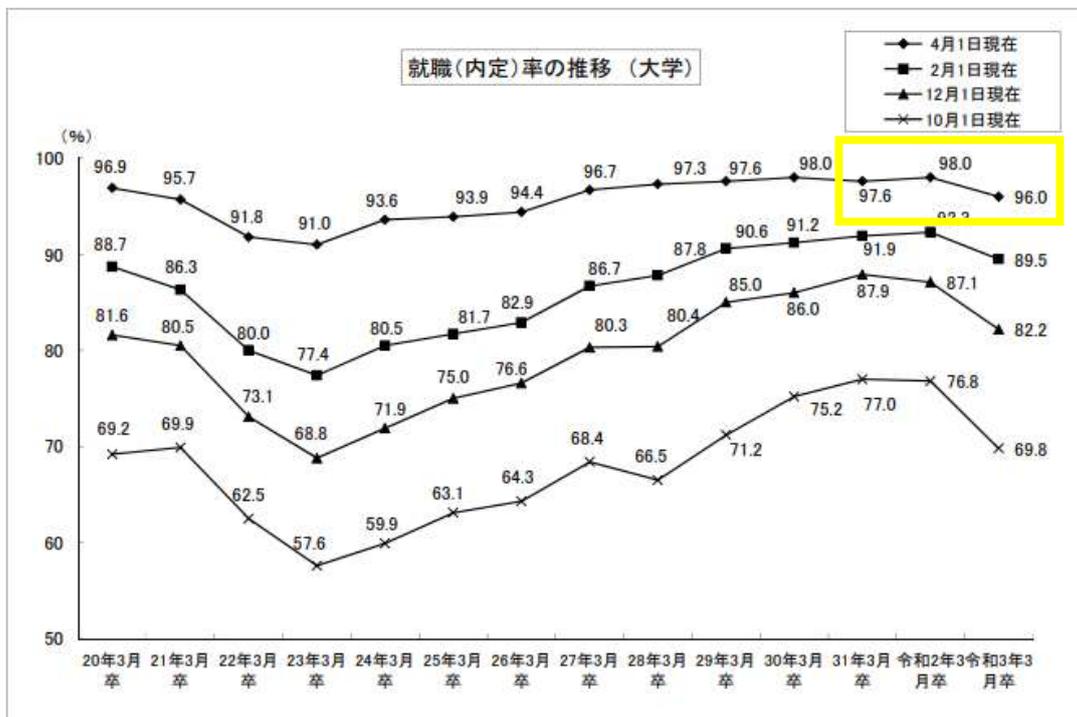
<令和2年度の調査結果>

n=309	とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
授業に真面目に出席した	59.5	35.9	4.2	0.3
授業で出された宿題や課題はきちんとやった	57.6	35.9	6.5	0.0
進路や将来について積極的に考えた	46.0	42.4	10.0	1.6
授業の予習や復習をした	8.1	35.0	46.0	11.0
興味をもったことについて自主的に学習した	24.6	45.0	24.6	5.8
計画を立てて学習した	10.7	35.9	42.4	11.0
グループワークやディスカッションに積極的に参加した	23.0	47.6	24.6	4.9

<令和3年度の調査結果>

n=294	とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
授業に真面目に出席した	63.6	33.7	2.4	0.3
授業で出された宿題や課題はきちんとやった	58.5	38.1	3.1	0.3
進路や将来について積極的に考えた	47.3	43.2	9.2	0.3
授業の予習や復習をした	15.3	31.6	44.9	8.2
興味をもったことについて自主的に学習した	28.9	49.0	19.7	2.4
計画を立てて学習した	16.7	33.3	42.9	7.1
グループワークやディスカッションに積極的に参加した	26.2	49.7	20.4	3.7

資料2. 全国大学生の就職（内定）率の推移



厚生労働省「令和2年度大学等卒業者の就職内定状況調査（令和3年4月1日現在）」

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	アサノ ヨシハル 浅野 善治 <令和4年4月>		学士 (法学)		東京国際大学 学長 (令和4年4月～令和7年3月)

審査意見への対応を記載した書類（7月）（本文）

（目次） 人間社会学部 人間スポーツ学科、スポーツ科学科

1. 「定員増後の入学者選抜シミュレーション」について、志願者数を令和2年度及び令和3年度の実績の中央値とする一方で、歩留まり率は、近年低下傾向にある中で、平成29年度から令和3年度までの5年間の平均値とする根拠が判然としない。また、志願倍率についても、実質倍率（受験者数/合格者数）が示されておらず、人間スポーツ学科及びスポーツ科学科の併願による志願者数の重複も不明確である。このため、シミュレーションに用いる数値の妥当性について改めて説明するとともに、各年度の実質倍率を示した上で、長期的かつ安定して定員を充足することができることについて、客観的な根拠に基づき説明をすること。

（是正事項）・・・・・・・・・・2

(是正事項)

人間社会学部 人間スポーツ学科、スポーツ科学科

1. 「定員増後の入学者選抜シミュレーション」について、志願者数を令和2年度及び令和3年度の実績の中央値とする一方で、歩留まり率は、近年低下傾向にある中で、平成29年度から令和3年度までの5年間の平均値とする根拠が判然としない。また、志願倍率についても、実質倍率（受験者数/合格者数）が示されておらず、人間スポーツ学科及びスポーツ科学科の併願による志願者数の重複も不明確である。このため、シミュレーションに用いる数値の妥当性について改めて説明するとともに、各年度の実質倍率を示した上で、長期的かつ安定して定員を充足することができることについて、客観的な根拠に基づき説明をすること。

(対応)

審査意見を踏まえ、両学科の併願者数及び実質倍率についても、過去5か年の実績を新たに示した。

定員増後の入学者選抜シミュレーションについては、計算に用いる数値を見直し、直近2年間の実績に基づいて推計を行った。加えて、両学科の併願者についても要素として計算式に組み込み、より実態に即したシミュレーションとした。

また、改めて行ったシミュレーション結果を踏まえ、当初の入学定員増員数（人間スポーツ学科：40名増、スポーツ科学科：40名増）を見直した。人間スポーツ学科を15名増、スポーツ科学科を10名増とし、堅実に定員充足が可能な収容定員とする。

以下に各々の詳細を記す。

① 併願者数及び実質倍率の提示

「1.1.2.4 人間スポーツ学科・スポーツ科学科の志願動向」の項目において、各学科の志願者のうち両方の学科に志願していた併願者の人数を新たに示した（表1）。いずれの年度も、志願者全体から見ると併願者は少数と言える。また、入学者選抜のシミュレーションにおいては、これら併願者数を加味した推計へと変更している（詳細は後述）。

表1. 各学科の併願者数

		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3
志願者 内訳	人間スポーツ学科のみ志願	339	393	424	475	397
	スポーツ科学科のみ志願	332	322	348	339	311
	併願者	42	41	41	89	51

同じく、「1.1.2.4 人間スポーツ学科・スポーツ科学科の志願動向」の項目において、志願動向を表す指標の一つとして実質倍率の実績を新たに示した（表2）。

また、実質倍率の追加に併せ、受験者数も新たに提示している。なお、受験率（受験者数／志願者数）については、志願者数と受験者数の数値から一見して高い比率であることが明らかなため、指標として掲載はしていない。いずれの学科・年度も受験率は96%以上となっており、志願者の殆どは実際に受験をしている。

さらに、合格率の指標に関して、初回の申請時は「合格者数／志願者数」によって算出していたが、受験者数を分母とする方が合格率として正確なため、「合格者数／受験者数」での算出に変更している。そのため、合格率は実質倍率の逆数となる。

表2. 各学科の実質倍率

<人間社会学部 人間スポーツ学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	
①	志願者数	381	434	465	564	448	
②	受験者数	376	424	456	545	432	
③	合格者数	325	345	289	365	362	
④	合格率	③/②	86.4%	81.4%	63.4%	67.0%	83.8%
⑤	実質倍率	②/③	1.16	1.23	1.58	1.49	1.19
⑥	定員充足率	1.10	1.08	0.95	1.03	1.01	

<人間社会学部 スポーツ科学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	
①	志願者数	374	363	389	428	362	
②	受験者数	369	359	384	416	353	
③	合格者数	318	287	262	294	314	
④	合格率	③/②	86.2%	79.9%	68.2%	70.7%	89.0%
⑤	実質倍率	②/③	1.16	1.25	1.47	1.41	1.12
⑥	定員充足率	1.12	1.02	0.97	1.03	1.10	

上述したように、審査意見を踏まえて併願者数や実質倍率の指標を追加し、多角的に志願動向を捉えられるデータを提示した。本学としては、志願者数を肝要な指標として学生確保見通しの考察を行っているが、これら追加した指標も加味し、改めて入学者選抜シミュレーションを行う。

② シミュレーションの見直し

「1.1.2.5 定員増後の入学者選抜シミュレーション」の項目で行っているシミュレーション（表3、表4）について、以下の点を変更した。

表 3. 人間スポーツ学科の志願動向（入学者選抜シミュレーション）

入学年度	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレ ーション
① 入学定員	230	230	230	230	230	245
② 志願者数	381	434	465	564	448	472
③ 受験者数	376	424	456	545	432	456
④ 合格者数	325	345	289	365	362	378
⑤ 入学者数	252	249	218	238	233	245
⑥ 志願倍率 ②/①	1.66	1.89	2.02	2.45	1.95	1.93
⑦ 合格率 ④/③	86.4%	81.4%	63.4%	67.0%	83.8%	83.0%
⑧ 実質倍率 ③/④	1.16	1.23	1.58	1.49	1.19	1.20
⑨ 歩留 ⑤/④	77.5%	72.2%	75.4%	65.2%	64.4%	64.8%
⑩ 定員充足率 ⑤/①	1.10	1.08	0.95	1.03	1.01	1.00

表 4. スポーツ科学科の志願動向（入学者選抜シミュレーション）

入学年度	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレ ーション
① 入学定員	200	200	200	200	200	210
② 志願者数	374	363	389	428	362	360
③ 受験者数	369	359	384	416	353	350
④ 合格者数	318	287	262	294	314	300
⑤ 入学者数	224	204	193	206	219	210
⑥ 志願倍率 ②/①	1.87	1.82	1.95	2.14	1.81	1.71
⑦ 合格率 ④/③	86.2%	79.9%	68.2%	70.7%	89.0%	85.7%
⑧ 実質倍率 ③/④	1.16	1.25	1.47	1.41	1.12	1.17
⑨ 歩留 ⑤/④	70.4%	71.1%	73.7%	70.1%	69.7%	69.9%
⑩ 定員充足率 ⑤/①	1.12	1.02	0.97	1.03	1.10	1.00

■ 志願者数

シミュレーションで想定する志願者数を、実志願者数に基づく数値へ変更した。具体的には、初回申請時は単に志願者数の直近 2 か年の中央値を用いていたが、補正申請においては併願者数に基づき、実志願者数を仮定。実志願者数の直近 2 か年の中央値をシミュレーション上の志願者数とし、より現実的な学生確保を推計するものとした。

人間スポーツ学科を例にとって説明すると（表 5）、令和 2 年度と令和 3 年度の志願者数（564 人／448 人）のうち、両学科併願者（89 人／51 人）を各学科に等分。等分された併願者数と人間スポーツ学科のみの志願者数の合計を、実志願者数として仮定した。実志願者数の令和 2 年度（520 人）と令和 3 年度（423 人）の中央値（472 人）をシミュレーション上の志願者数とした。

表 5. 実志願者数の算出

志願者数		志願者数内訳			実志願者数*	
令和2	令和3		令和2	令和3	令和2	令和3
564	448	人間スポーツ学科のみ志願 併願者	475 89	397 51	520	423

*人間スポーツ学科には45名（令和2）と26名（令和3）を算入

■受験者数

シミュレーション表中に受験者数を追記した。また、シミュレーションにおける受験者数については、令和2年度と令和3年度の受験率実績の中央値を志願者数に乗じて算出している。

■合格率

「合格者数／志願者数」から「合格者数／受験者数」へと、算出式を変更した。

■歩留

最新の動向を反映するため、過去5か年の平均値ではなく、志願者数等と同様に直近2か年の中央値を使用するシミュレーションへ変更した。

以上のように、シミュレーションで用いる数値及び計算式を見直し、より実態に即した推計に基づき学生確保の見通しを考察した。その結果、下記のとおり、入学定員の増員数を改めた。

③ 増員数の見直し

改めて実施したシミュレーションに基づいて、当初の入学定員増員数（人間スポーツ学科：40名増、スポーツ科学科：40名増）を見直した。人間スポーツ学科を15名増、スポーツ科学科を10名増とし、堅実に定員充足が可能な規模の収容定員変更とする（表6）

表 6. 令和5年度 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人間社会学部	人間スポーツ学科	230人	920人	245人	980人	+15人	+60人
	スポーツ科学科	200人	800人	210人	840人	+10人	+40人
合計		430人	1,720人	455人	1,820人	+25人	+100人

(新旧対照表)

<学生確保の見通し等を記載した書類>

新	旧
<p>(3 頁)</p> <p>1.1.1 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方</p> <p>今回の収容定員変更では、以下のとおり入学定員・収容定員を定めた(表1)。人間社会学部人間スポーツ学科は入学定員を <u>15</u> 名拡大することで、現在の 230 名から <u>245</u> 名へと増員する。人間社会学部スポーツ科学科については入学定員を <u>10</u> 名拡大することで、入学定員を現在の 200 名から <u>210</u> 名へと増員する。</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">表 1</p>	<p>(3 頁)</p> <p>1.1.1 定員充足の見込みおよび入学定員設定の考え方</p> <p>今回の収容定員変更では、以下のとおり入学定員・収容定員を定めた(表1)。人間社会学部人間スポーツ学科は入学定員を 40 名拡大することで、現在の 230 名から 270 名へと増員する。人間社会学部スポーツ科学科については、入学定員を現在の 200 名から 240 名へと増員する。</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">表 1</p>

新 表 1. 令和 5 年度 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人間社会学部	人間スポーツ学科	230人	920人	245人	980人	+15人	+60人
	スポーツ科学科	200人	800人	210人	840人	+10人	+40人
合計		430人	1,720人	455人	1,820人	+25人	+100人

旧 表 1. 令和 5 年度 収容定員変更の概要

学部	学科	現行		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人間社会学部	人間スポーツ学科	230人	920人	270人	1,080人	+40人	+160人
	スポーツ科学科	200人	800人	240人	960人	+40人	+160人
合計		430人	1,720人	510人	2,040人	+80人	+320人

新	旧
<p>(7-8 頁)</p> <p>1.1.2.4. 人間スポーツ学科・スポーツ科学科の志願動向</p> <p>いずれの学科も志願者数は安定的に推移している。令和 3 年度については、各学科とも新型コロナウイルスによる影響から落ち込みはしたが、それ以前の平成 29 年度から令和 2 年度にかけては志願者数が増加傾向にあった。人間スポーツ学科で 1.48 倍（564 人／381 人）、スポーツ科学科では 1.14 倍（428 人／374 人）に志願者が漸増し、学生確保は堅調な状況だったと言える。また、各学科の志願者のうち、両方の学科に志願していた併願者の人数を表 8 に示す。いずれの年度も、志願者全体から見ると併願者は少数と言える。</p> <p>表 8</p> <p><u>実質倍率（受験者数／合格者数）についても過去 5 年間の推移を見ると、人間スポーツ学科は 1.16～1.58、スポーツ科学科は 1.12～1.47 となっている（表 9）。過去 5 年間のうち、令和元年度の実質倍率が最も高くなっている要因は、収容定員充足率の調整によるものである。在籍学生数が収容定員に対して過剰になることを防ぐため、両学科とも令和元年度は合格率を切り下げ、入学者を絞り込んでいた。受験者数の増加（志願者数の増加）に加え、合格率の切り下げによって令和元年度の実質倍率が上昇していた。</u></p> <p>表 9</p>	<p>(7 頁)</p> <p>1.1.2.4. 人間スポーツ学科・スポーツ科学科の志願動向</p> <p>いずれの学科も志願者数は安定的に推移している。令和 3 年度については、各学科とも新型コロナウイルスによる影響から落ち込みはしたが、それ以前の平成 29 年度から令和 2 年度にかけては志願者数が増加傾向にあった。人間スポーツ学科で 1.48 倍（564 人／381 人）、スポーツ科学科では 1.14 倍（428 人／374 人）に志願者が漸増し、学生確保は堅調な状況だったと言える。</p>

新 表 8. 各学科の併願者数

		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3
志願者 内訳	人間スポーツ学科のみ志願	339	393	424	475	397
	スポーツ科学科のみ志願	332	322	348	339	311
	併願者	42	41	41	89	51

新 表 9. 各学科の実質倍率

<人間社会学部 人間スポーツ学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	
①	志願者数	381	434	465	564	448	
②	受験者数	376	424	456	545	432	
③	合格者数	325	345	289	365	362	
④	合格率	③/②	86.4%	81.4%	63.4%	67.0%	83.8%
⑤	実質倍率	②/③	1.16	1.23	1.58	1.49	1.19
⑥	定員充足率	1.10	1.08	0.95	1.03	1.01	

<人間社会学部 スポーツ科学科>

入学年度		平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	
①	志願者数	374	363	389	428	362	
②	受験者数	369	359	384	416	353	
③	合格者数	318	287	262	294	314	
④	合格率	③/②	86.2%	79.9%	68.2%	70.7%	89.0%
⑤	実質倍率	②/③	1.16	1.25	1.47	1.41	1.12
⑥	定員充足率	1.12	1.02	0.97	1.03	1.10	

新	旧
<p>(10-11 頁)</p> <p>1.1.2.5. 定員増後の入学者選抜シミュレーション</p> <p>・人間社会学部 人間スポーツ学科</p> <p>表 13</p> <p>人間スポーツ学科は入学定員を 230 人から 245 人へと増員する。 堅実な推計を行うため、表 13 のシミュレ</p>	<p>(9 頁)</p> <p>1.1.2.5. 定員増後の入学者選抜シミュレーション</p> <p>・人間社会学部 人間スポーツ学科</p> <p>表 11</p> <p>人間スポーツ学科は入学定員を 230 人から 270 人へと増員する。 シミュレーションにおける志願者数は、</p>

ーションで想定する志願者数は、各学科の併願を加味した上で過去の実績から設定している。具体的には、令和2年度と令和3年度の志願者数実績(564人/448人)のうち、併願者(89人/51人)を各学科に等分。等分された併願者数と人間スポーツ学科のみの志願者の合計を実志願者数と仮定した(表14)。実志願者数の令和2年度(520人)と令和3年度(423人)の中央値(472人)をシミュレーション上の志願者数とした。中央値を採用する理由は、定員を増加する令和5年度には、新型コロナウイルスによる志願動向の落ち込みは一定の復調を見込んでいるためである。

表14

また、シミュレーションにおける受験者数は、令和2年度と令和3年度の受験率実績の中央値(96.5%)を志願者数に乗じて算出している。合格者のうちの入学者の比率を示す歩留についても、志願者数と同様に令和2年度及び令和3年度実績の中央値(64.8%)を使用している。

シミュレーションの結果、増員後の入学定員充足率1.00確保に必要な合格者数は378人、合格率83.0%となる(表13)。この合格率は、過去5年間の合格率(63.4%~86.4%)を鑑みても問題が生じる水準とは言えない。よって、適正な入学者選抜を行った上で、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

令和2年度及び令和3年度実績の中央値(506人)と想定した。定員を増加する令和5年度には、新型コロナウイルスによる落ち込みから一定の復調を見込んでいるためである。また、合格者のうちの入学者の比率を示す歩留は、平成29年度から令和3年度までの5年間の平均値(70.9%)を使用している。

シミュレーションの結果、増員後の入学定員充足率1.00確保に必要な合格者数は381人、合格率75.2%となる。この合格率は、過去5年間の合格率(62.2%~85.3%)を鑑みても問題が生じる水準とは言えない。よって、適正な入学者選抜を行った上で、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

新 表 13. 人間スポーツ学科の志願動向

入学年度	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレーション
① 入学定員	230	230	230	230	230	245
② 志願者数	381	434	465	564	448	472
③ 受験者数	376	424	456	545	432	456
④ 合格者数	325	345	289	365	362	378
⑤ 入学者数	252	249	218	238	233	245
⑥ 志願倍率 ②/①	1.66	1.89	2.02	2.45	1.95	1.93
⑦ 合格率 ④/③	86.4%	81.4%	63.4%	67.0%	83.8%	83.0%
⑧ 実質倍率 ③/④	1.16	1.23	1.58	1.49	1.19	1.20
⑨ 歩留 ⑤/④	77.5%	72.2%	75.4%	65.2%	64.4%	64.8%
⑩ 定員充足率 ⑤/①	1.10	1.08	0.95	1.03	1.01	1.00

旧 表 11. 人間スポーツ学科の志願動向

入学年度	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレーション
① 入学定員	230	230	230	230	230	270
② 志願者数	381	434	465	564	448	506
③ 合格者数	325	345	289	365	362	381
④ 入学者数	252	249	218	238	233	270
⑤ 志願倍率 ②/①	1.66	1.89	2.02	2.45	1.95	1.87
⑥ 合格率 ③/②	85.3%	79.5%	62.2%	64.7%	80.8%	75.2%
⑦ 歩留 ④/③	77.5%	72.2%	75.4%	65.2%	64.4%	70.9%
⑧ 定員充足率 ④/①	1.10	1.08	0.95	1.03	1.01	1.00

新 表 14. 実志願者数の算出

志願者数		志願者数内訳				実志願者数*	
令和2	令和3	令和2		令和3		令和2	令和3
564	448	人間スポーツ学科のみ志願	475	397	520	423	
		併願者	89	51			

*人間スポーツ学科には45名（令和2）と26名（令和3）を算入

新	旧
(11-12 頁) 1.1.2.5. 定員増後の入学者選抜シミュレーション ・人間社会学部 スポーツ科学科	(10 頁) 1.1.2.5. 定員増後の入学者選抜シミュレーション ・人間社会学部 スポーツ科学科

表 15

スポーツ科学科は入学定員を 200 人から 210 人へと増員する。

堅実な推計を行うため、表 15 のシミュレーションで想定する志願者数は、各学科の併願を加味した上で過去の実績から設定している。具体的には、令和 2 年度と令和 3 年度の志願者数実績 (428 人/362 人)のうち、併願者 (89 人/51 人) を各学科に等分。等分された併願者数とスポーツ科学科みの志願者の合計を実志願者数と仮定した (表 16)。実志願者数の令和 2 年度 (383 人) と令和 3 年度 (336 人) の中央値 (360 人) をシミュレーション上の志願者数とした。中央値を採用する理由は、定員を増加する令和 5 年度には、新型コロナウイルスによる志願動向の落ち込みは一定の復調を見込んでいるためである。

表 16

また、シミュレーションにおける受験者数は、令和 2 年度と令和 3 年度の受験率実績の中央値 (97.4%) を志願者数に乗じて算出している。合格者のうちの入学者の比率を示す歩留についても、志願者数と同様に令和 2 年度及び令和 3 年度実績の中央値 (69.9%) を使用している。

シミュレーションの結果、増員後の入学定員充足率 1.00 確保に必要な合格者数は 300 人、合格率 85.7%となる (表 15)。この合格率は、過去 5 年間の合格率 (68.2%~89.0%) を鑑みても問題が生じる水準とは言えない。よって、適正な入学者選抜を行

表 12

スポーツ科学科は入学定員を 200 人から 240 人へと増員する。

シミュレーションにおける志願者数は、令和 2 年度及び令和 3 年度実績の中央値 (395 人) と想定した。定員を増加する令和 5 年度には、新型コロナウイルスによる落ち込みから一定の復調を見込んでいるためである。また、合格者のうちの入学者の比率を示す歩留は、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間の平均値 (71.0%) を使用している。

シミュレーションの結果、増員後の入学定員充足率 1.00 確保に必要な合格者数は 338 人、合格率 85.6%となる。この合格率は、過去 5 年間の合格率 (67.4%~86.7%) を鑑みても問題が生じる水準とは言えない。よって、適正な入学者選抜を行った上で、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

った上で、十分に学生を確保していくことが可能だと判断できる。

新 表 15. スポーツ科学科の志願動向

入学年度	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレーション
① 入学定員	200	200	200	200	200	210
② 志願者数	374	363	389	428	362	360
③ 受験者数	369	359	384	416	353	350
④ 合格者数	318	287	262	294	314	300
⑤ 入学者数	224	204	193	206	219	210
⑥ 志願倍率 ②/①	1.87	1.82	1.95	2.14	1.81	1.71
⑦ 合格率 ④/③	86.2%	79.9%	68.2%	70.7%	89.0%	85.7%
⑧ 実質倍率 ③/④	1.16	1.25	1.47	1.41	1.12	1.17
⑨ 歩留 ⑤/④	70.4%	71.1%	73.7%	70.1%	69.7%	69.9%
⑩ 定員充足率 ⑤/①	1.12	1.02	0.97	1.03	1.10	1.00

旧 表 12. スポーツ科学科の志願動向

入学年度	平成29	平成30	令和元 (平成31)	令和2	令和3	シミュレーション
① 入学定員	200	200	200	200	200	240
② 志願者数	374	363	389	428	362	395
③ 合格者数	318	287	262	294	314	338
④ 入学者数	224	204	193	206	219	240
⑤ 志願倍率 ②/①	1.87	1.82	1.95	2.14	1.81	1.65
⑥ 合格率 ③/②	85.0%	79.1%	67.4%	68.7%	86.7%	85.6%
⑦ 歩留 ④/③	70.4%	71.1%	73.7%	70.1%	69.7%	71.0%
⑧ 定員充足率 ④/①	1.12	1.02	0.97	1.03	1.10	1.00

新 表 16. 実志願者数の算出

志願者数		志願者数内訳			実志願者数*		
令和2	令和3		令和2	令和3	令和2	令和3	
428	362	▶	スポーツ科学科のみ志願 併願者	339 89	311 51	▶	383 336

*スポーツ科学科には44名（令和2）と25名（令和3）を算入